

16

# 神呪のエクスタール

原作

吉野弘幸

漫画

佐藤健悦





### 吉野 弘幸

最近、オーディオブックをよく聞くようになりました。楽しいけれど、運転中などお話のアイデアを練ったりする時間が削られるのは少し難点かも。



### 佐藤 健悦

押入れ整理で、昔の原稿用紙が出てきました。すごいタバコ臭。吸わなくなっただいぶたちますが、悪臭ってよりは…なんかまだ懐かしさが勝ちますね。



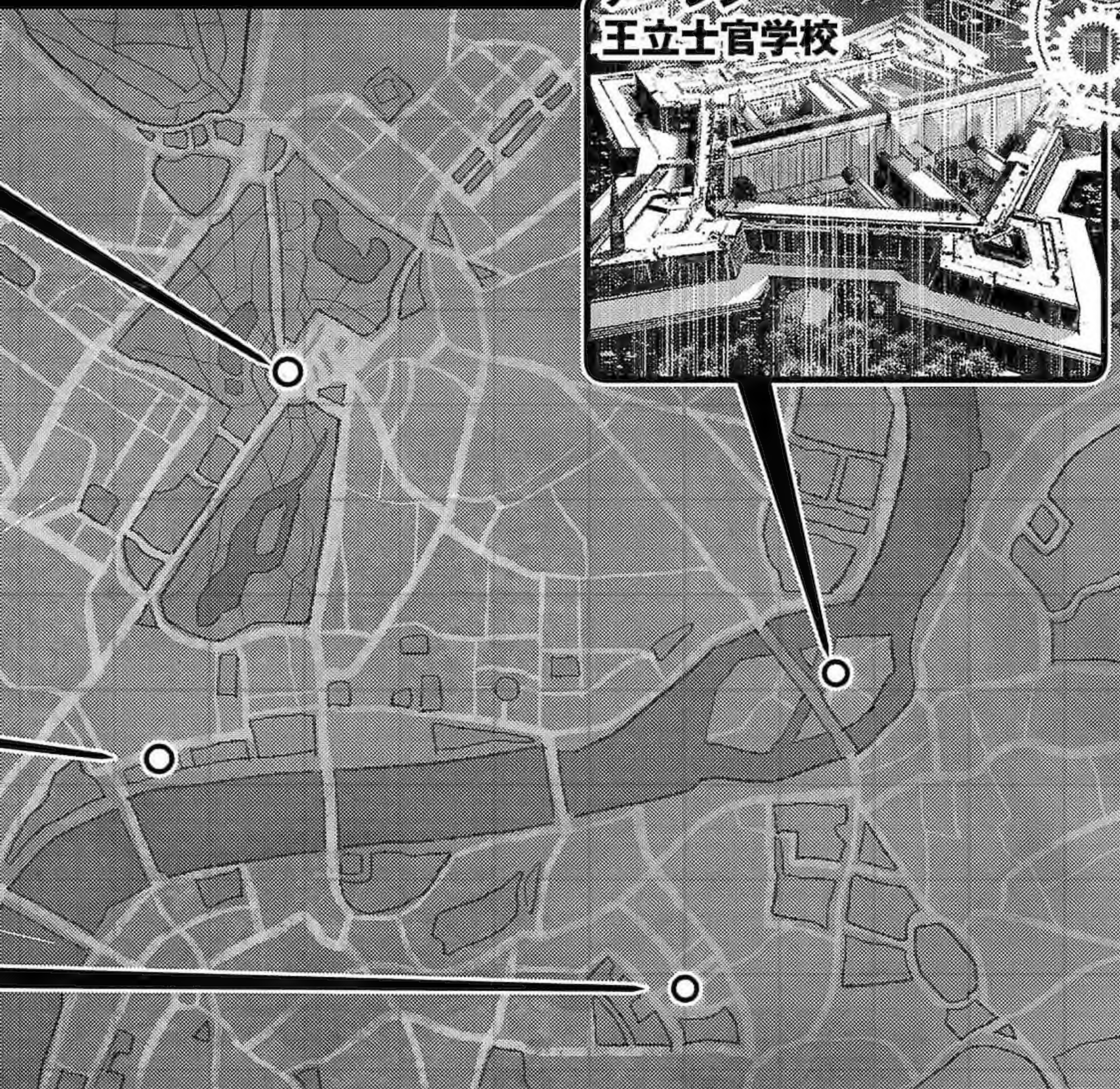
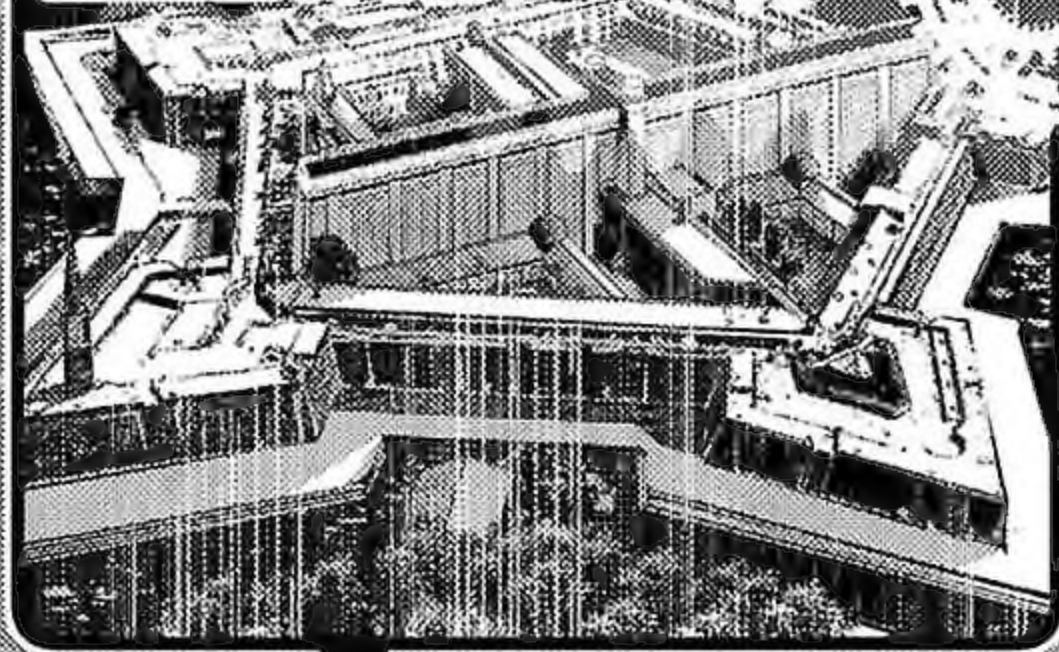
# 神呪のネクタール ①⑥

〈原作〉吉野弘幸 〈漫画〉佐藤健悦





アーレン  
王立士官学校



前巻までのあらすじ

砂漠の国・シンシャル帝国を訪れたカイ。一世一代の芝居でシンシャルの民の心を一つにしたカイは、アルビオンへと帰還する。東の間の休息かと思われたが、カイを待ち受けていたのはアルビオン国民議会警備隊だった。他国へ侵略行為を行ったとされ、アルビオン国民議会に対する第一級背任の罪でカイは拘束されてしまう。

この一連の拘束劇の背後には、リュカの政敵カツ・バローラの義娘、ドリス・バローラの影があり…!?



## ドリスの館



## 王宮 エルロンド宮殿



## アルピオン国民議会 ルビノン宮殿



## リエカ邸

## 登場人物



### カイ・ワタリ

異世界に召喚された“稀人”。<sup>マレビット</sup>“呪乳”の力を得て、無敵の戦士に変身する。アルピオン軍人グレイの姿を借り、数々の軍功を立てる。



### サクラ・シャクンティーラ・アドニエラ

ダーラ共和国に滅ぼされたアダール侯国の姫。乳房に神秘の力を宿す<sup>アンブシ</sup>“神妃”。アダール再興を目指し、カイと行動を共にする。



### ドルネア・ガランディアーナ

ガランドア統領・ハヴォルの妹。乳房にイフリートの力を宿す“神妃”。一見淑やかだが、戦闘となれば巨大なハンマーで敵に立ち向かう強さを持つ。



### ドリス・バローラ

カツ・バローラの長男キーツの妻であり、人民議会第三席。カイの拘束命令責任者を務めている。



第73話

## ドリス・バローラ

✿ 5

第74話

## ドルネアの祈り

✿ 35

第75話

## 欲望と策謀

✿ 65

第76話

## ドルネアへの魔手

✿ 95

第77話

## 査問会議

✿ 127

第78話

## 新たな証人

✿ 157

初出／チャンピオンRED2023年5月号～2023年10月号

※この作品はフィクションであり、実在の個人・団体などには一切関係ありません。



# 第73話／ドリス・バローラ

「アルビオン王国  
レムリアン・カンパニー所属」

「神呪の軍神こと  
グレイ・エンファール少佐」





カイ・ワタリ  
という青年である』

『その正体は  
実は異世界から  
やってきた稀人』



そしてリユカ殿下や  
レザリア女王さま  
など

ごく一部の  
人たちだけが  
知る秘密です



そのことは  
サクラさまや  
私ドルネア



カイさんが  
グレイ少佐の  
名と

その立場を借りる  
ことになったのか

なぜ



サクラさま  
たちの話に  
よれば

カイさんは  
自分たちを守る  
ために亡くなった  
本物のグレイ少佐の  
遺志を受け継ぎ

サクラさまの  
故郷

アダルル侯国を  
取り戻すことを  
誓って



少佐の名を借り  
戦いに身を  
投じたそうです

そしてカイさんは  
グレイ少佐として







多分  
神妃と呼ばれる  
女性から

ネクター  
呪乳を授かる  
ことで神呪の力を得て





数々の国々と人々を  
救うてきました





けれど――

砂漠の国  
シャール  
の争乱  
では少し無茶を  
しすぎたように



帰国するなり

国民議会警護隊を  
名乗る人たちに  
連行されてしまった  
のです……



……!!  
ドリス・バローラか

やつかいだな

これならまだ  
叔父貴の方が  
与し易かった





ドリス・バローラ…

先代ドレイク王権時代の  
絶対的覇権主義——  
その復古を目指す  
派閥の領袖である  
カツツ・バローラ卿には



彼の跡を継ぐだろうと  
言われたキーツと  
いう息子がいるが——




彼は数年前  
大病に倒れて  
しまい

以降  
健康状態に  
不安を抱え

後継問題から  
派閥の存続が  
危ぶまれたが——





その危機を  
救ったのが

元はカツツの秘書  
であり

キーツと結婚して  
自身も議員となった  
ドリスである

平民出身の彼女が  
パローラ派の後継と  
目されるように  
なると

やはり平民出身の  
新興富裕層の  
議員たちも  
派閥に合流し――


ルビノン宮





いまでは

議会の過半数を  
占める最大派閥  
となっている



思ったより  
線の細い方ですわね  
資料と随分  
イメージが違  
いますわ



よく言われ  
ますよ

もっと  
猛々しい猛者<sup>もさ</sup>を  
想像していた  
とね

その誤解は  
少佐の特徴とも  
言える  
その  
仮面の印象のせい  
かもしれません

噂では

傷痕を隠して  
らっしゃるとか…

私はどれほど  
酷い<sup>ひど</sup>傷でも

気にしません  
けれど？






それはつまり――

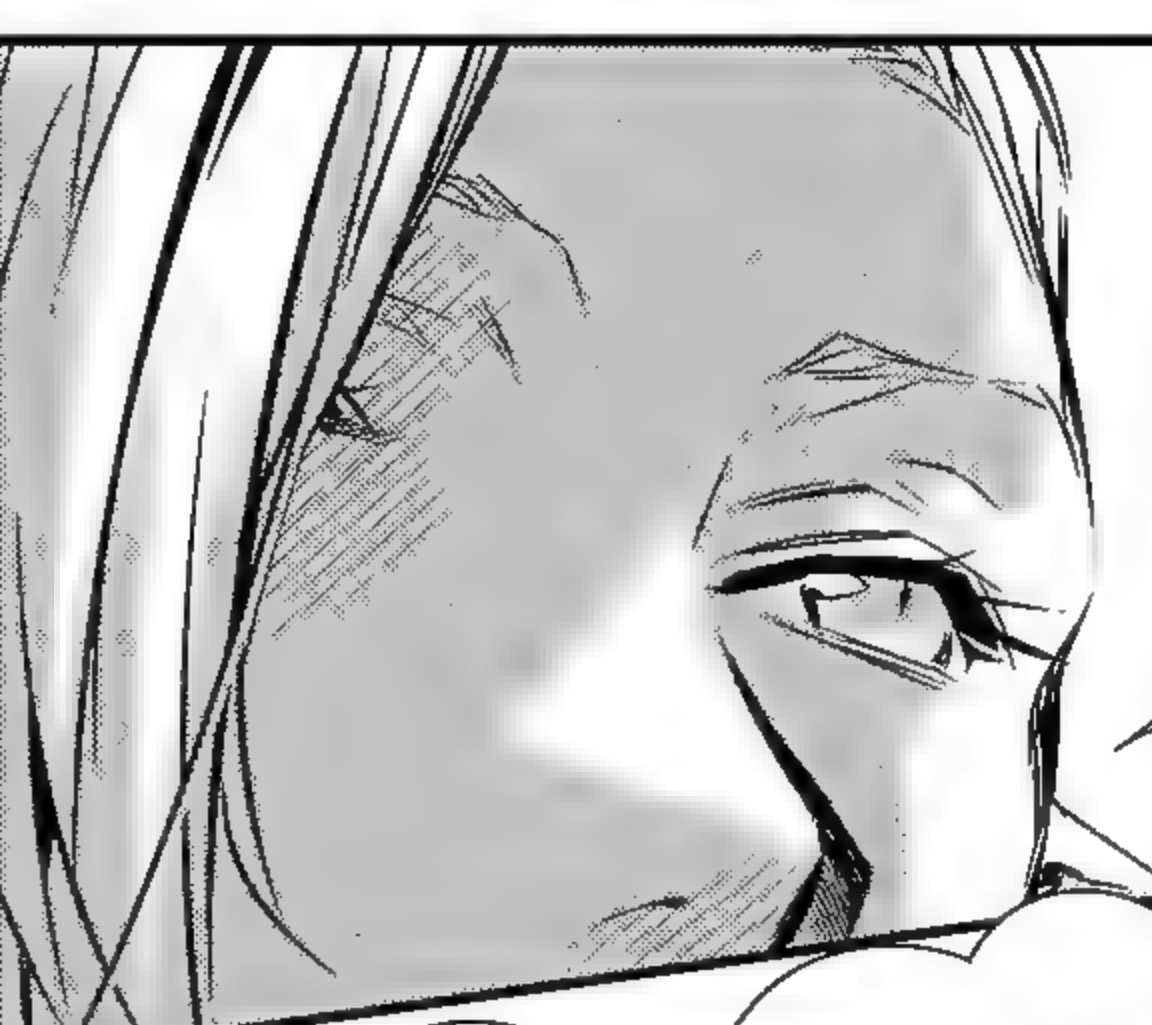
この仮面を外せ  
ということかな？

あくまで  
ご提案ですわ



議会には  
貴方を召喚し

証言まで外部  
との接触を  
断つ権利は  
あっても



拘束して  
無理矢理  
仮面を剥ぐ  
ようなことは  
できませんもの



さすが

国民を代表する  
議員殿だ

遵法精神  
じゆんぽう

痛み入るよ

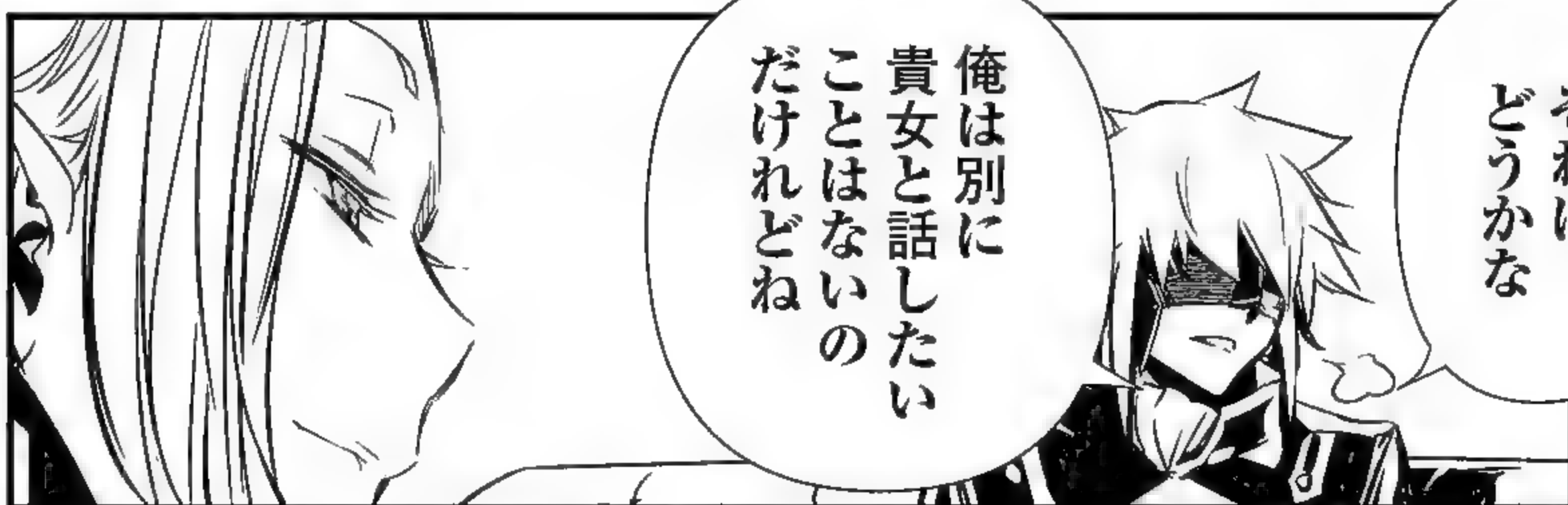




ふふ…

とっても  
面白い方

思った以上に  
話を通じそうで  
嬉しいですわ



それは  
どうかな

俺は別に  
貴女と話したい  
ことはないの  
だけれどね



貴方…も…？

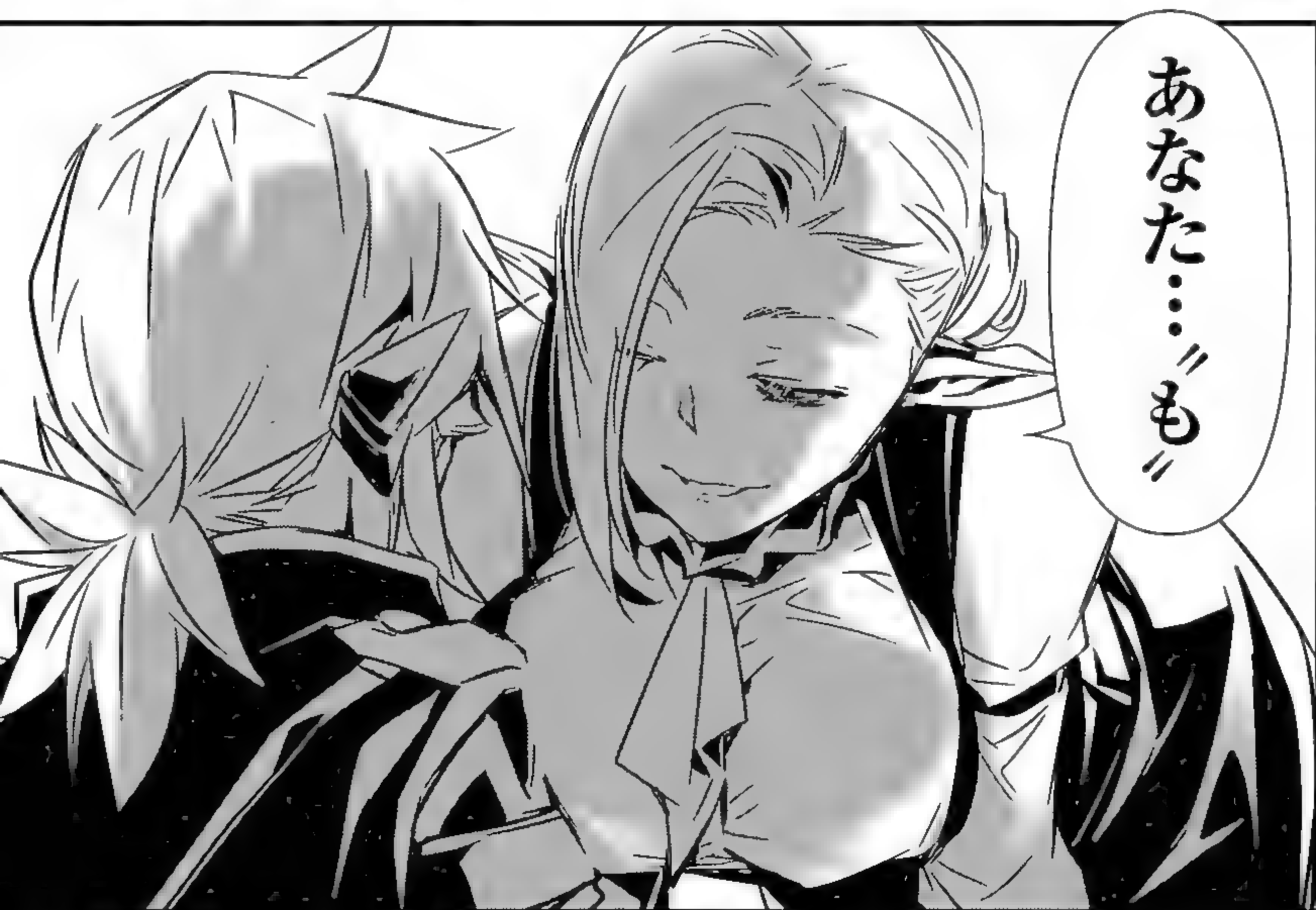


そうですか？  
今回の背任行為…  
貴方も現在の我が国の  
政治体制——特に  
王権に対して

思うところが  
おありなのかと  
想像したの  
ですけれど——









申し訳ないが――

買いかぶりだよ

俺はあくまで  
一介の軍人で

レザリア陛下に  
剣を捧げている

今回の件も

自分なりに  
最善を尽くした  
結果だ

力及ばず

陛下のご要望を  
達成することは  
叶わなかったが

……

やはり  
仮面を外して  
くださるつもりは  
ないわけね？

少なくとも  
貴女の前では

ね













美人で  
平民出身だから、  
民衆からの人気は  
高いけれど

一方で目的の実現の  
ためなら汚い裏工作  
から贈収賄



果ては露骨な  
色仕掛けまで

なんでも  
ござれって  
いう話だ

いろじがけ!?







ただ問題なのは

そんな<sup>から</sup>搦め手や  
策略以前に

今回の少佐の  
行動が

客観的には  
確かに国家の  
利益を損ねた  
ように見えることだ

うん

議会で吊上げ<sup>つるし</sup>  
られると

少し厳しいかも  
しれないな…

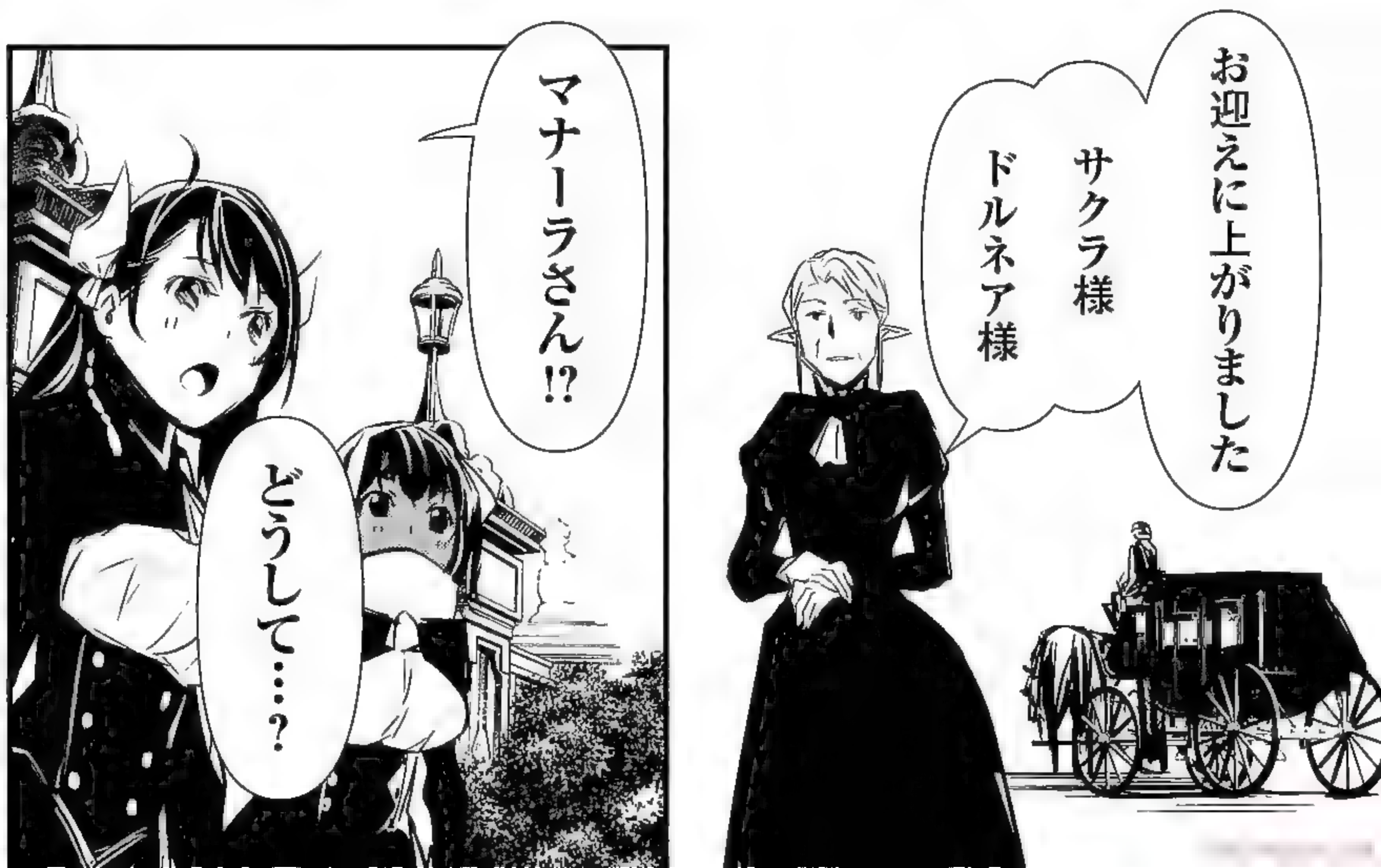
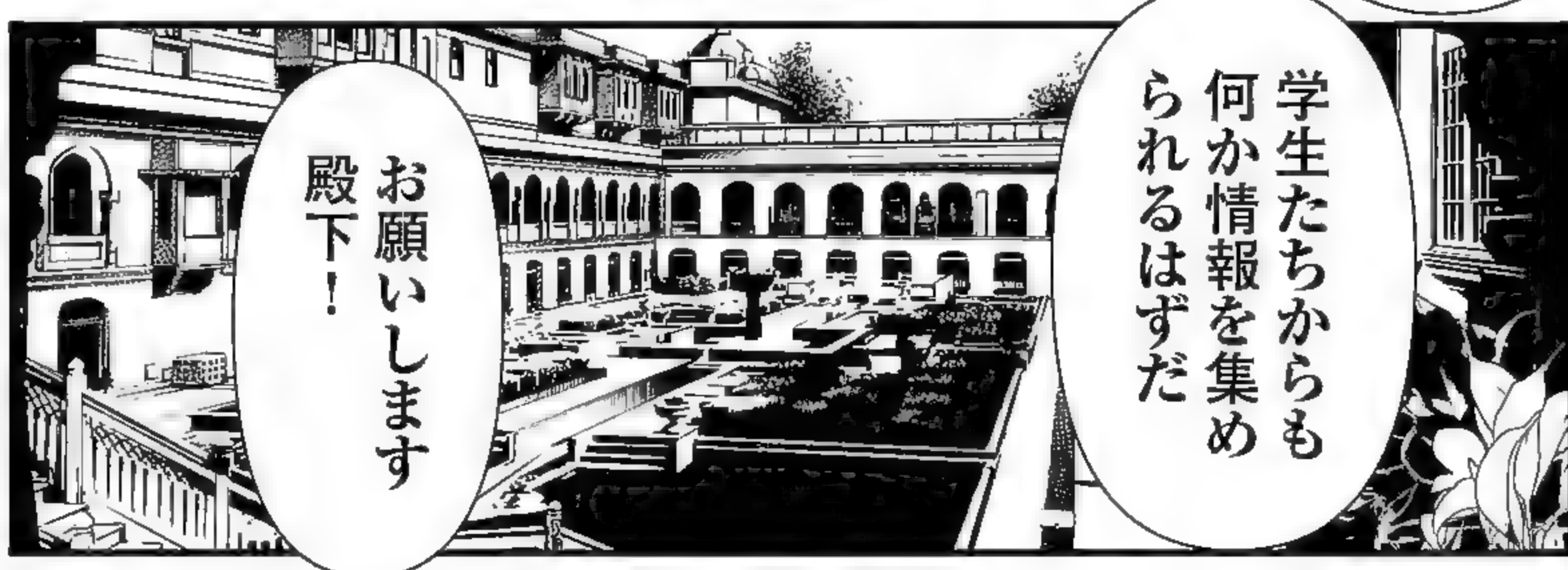
そんな…

何か…少佐の力に  
なるいい方法は  
ないんでしょうか  
…？

ドリス議員が  
最終的に何を  
目指しているのか

それがわかれば  
多少の対策の  
取りようも  
あるかもしれない  
が…











サクラさま

実は私も  
少し当たって  
みたいところが  
あるんです

ルビアン  
女学院は  
お任せしても  
大丈夫ですか？

もちろん!!

じゃあ  
手分けして  
当たりましょう!!

たっ

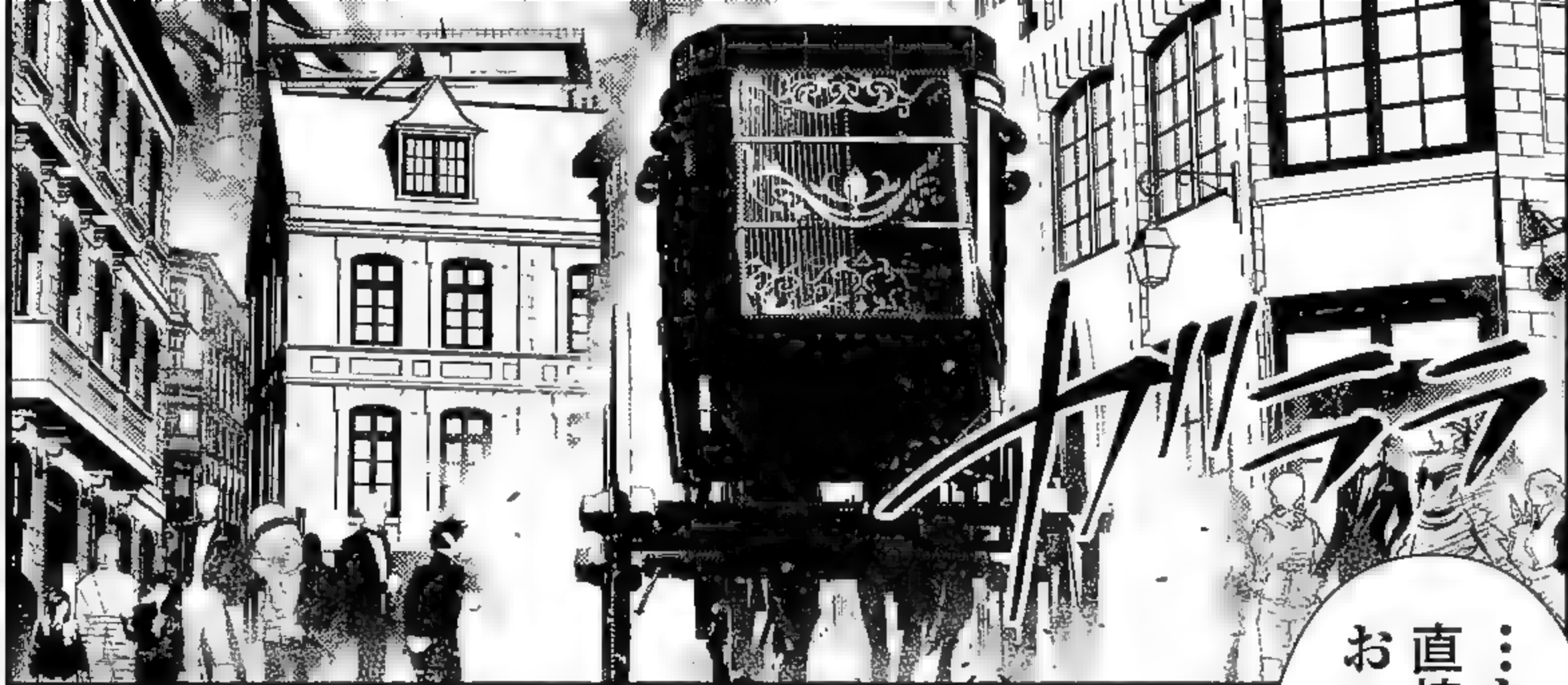
みんなも  
サクラさまも  
頑張ってる

私も  
カイさんのために  
頑張るんだ  
.....!!

それで  
ドルネア様は  
どちらに？

議事堂に  
お願いします





…もしやドリス議員を  
直接訪ねられる  
おつもりですか？

はい！

それは  
正直

難しいと  
思いますが

ですよ…

でも  
ガランドアには  
こんな諺ことわざが  
あるんです

『その岩が硬いかは  
ハンマーで  
叩いてみるまで  
判らない』って!!

なるほど

非常に

・・・らしい諺ことわざですね

クス









前方で事故  
が…!!



どうしました!?



子供がはねられた  
ようです!!



!!!












うわっ  
!?







お気持ちは  
わかります…でも!!

何の騒ぎです？

暴力は  
いけません!!

なっ…!!







## 第74話／ドルネアの祈り



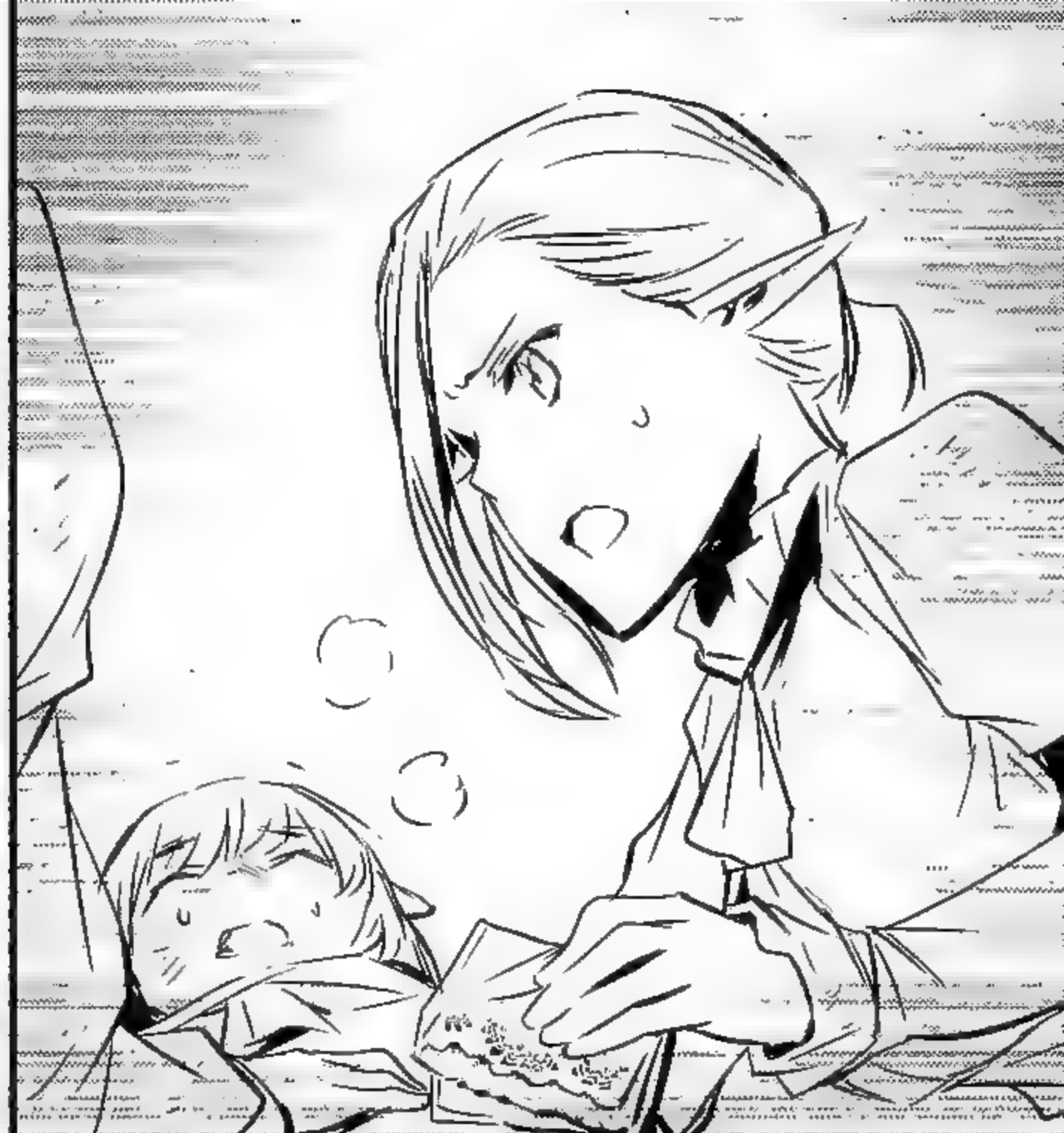
















もう  
大丈夫でしょう

ふう...

いし

わっ



頭を打って  
いたらいけません

先生

病院で詳しく  
診てあげて  
ください

治療費も薬代も  
全て私が持ち  
ますので

あんたは  
...?



私は  
ドリス・バローラ

国民議会の  
議員を務めさせて  
いただきます

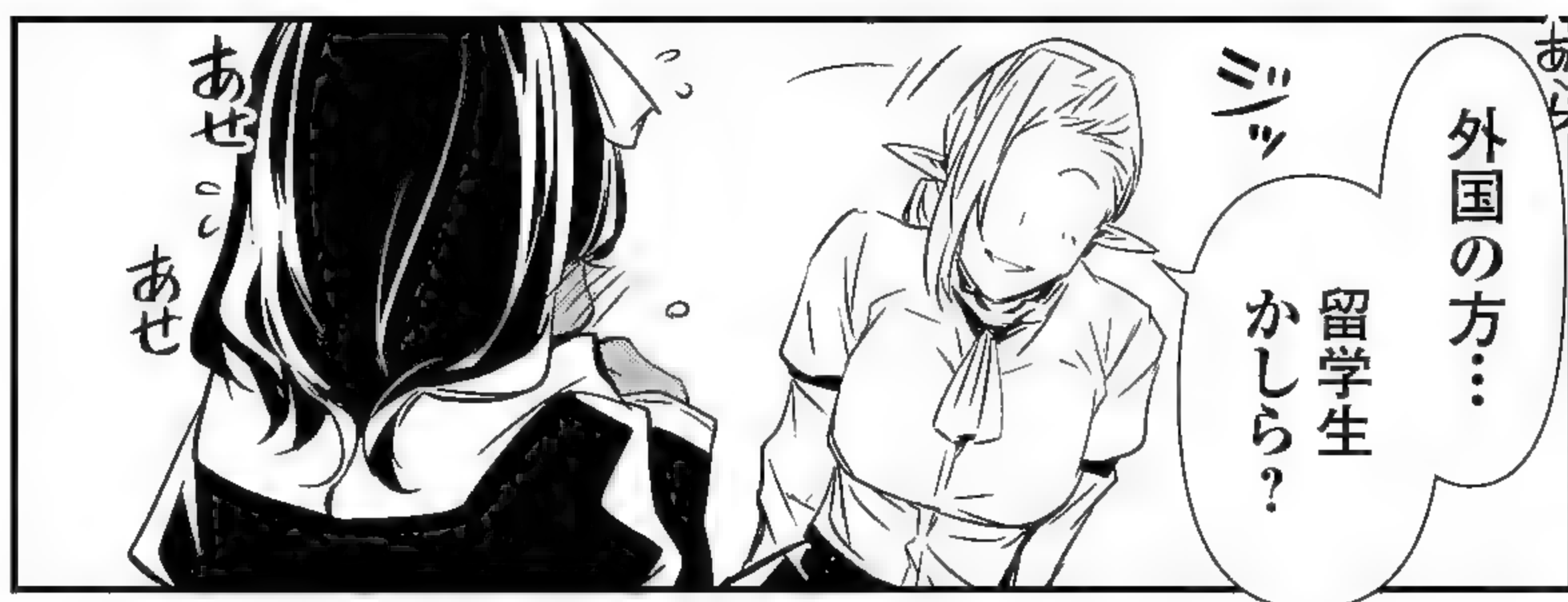














そうなのね……ふうん……

驚いたわ

素顔のドワーフ女性を  
見たのは初めてよ

ずもっ

あのっ

実はお願いが  
あって……!

グレイ少佐の  
ことなんです

!

そういえば

グレイ少佐が  
ガランドアの  
王女を連れて  
来ていたわね

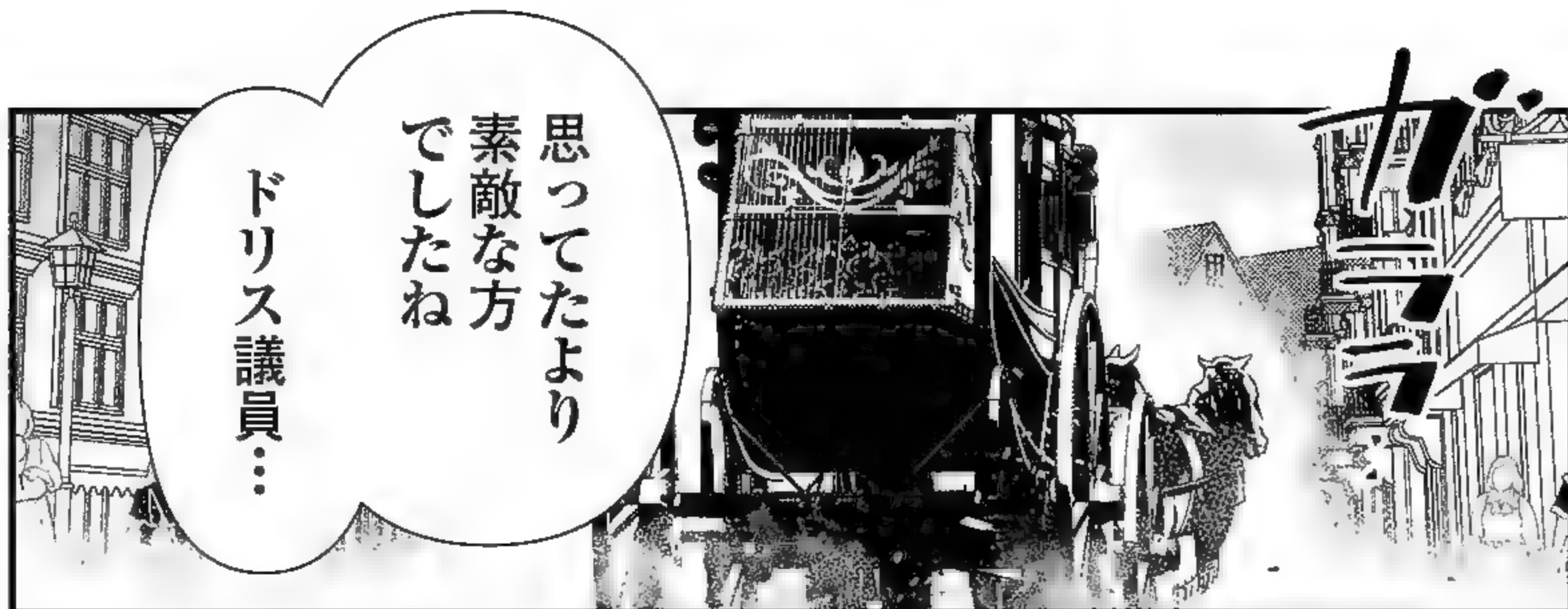












思ってたより  
素敵な方  
でしたね

ドリス議員…



きちんと  
話したら  
カイさんのことも  
わかってくださる  
かも

…それは  
どうでしょう



政治の世界に  
おいては

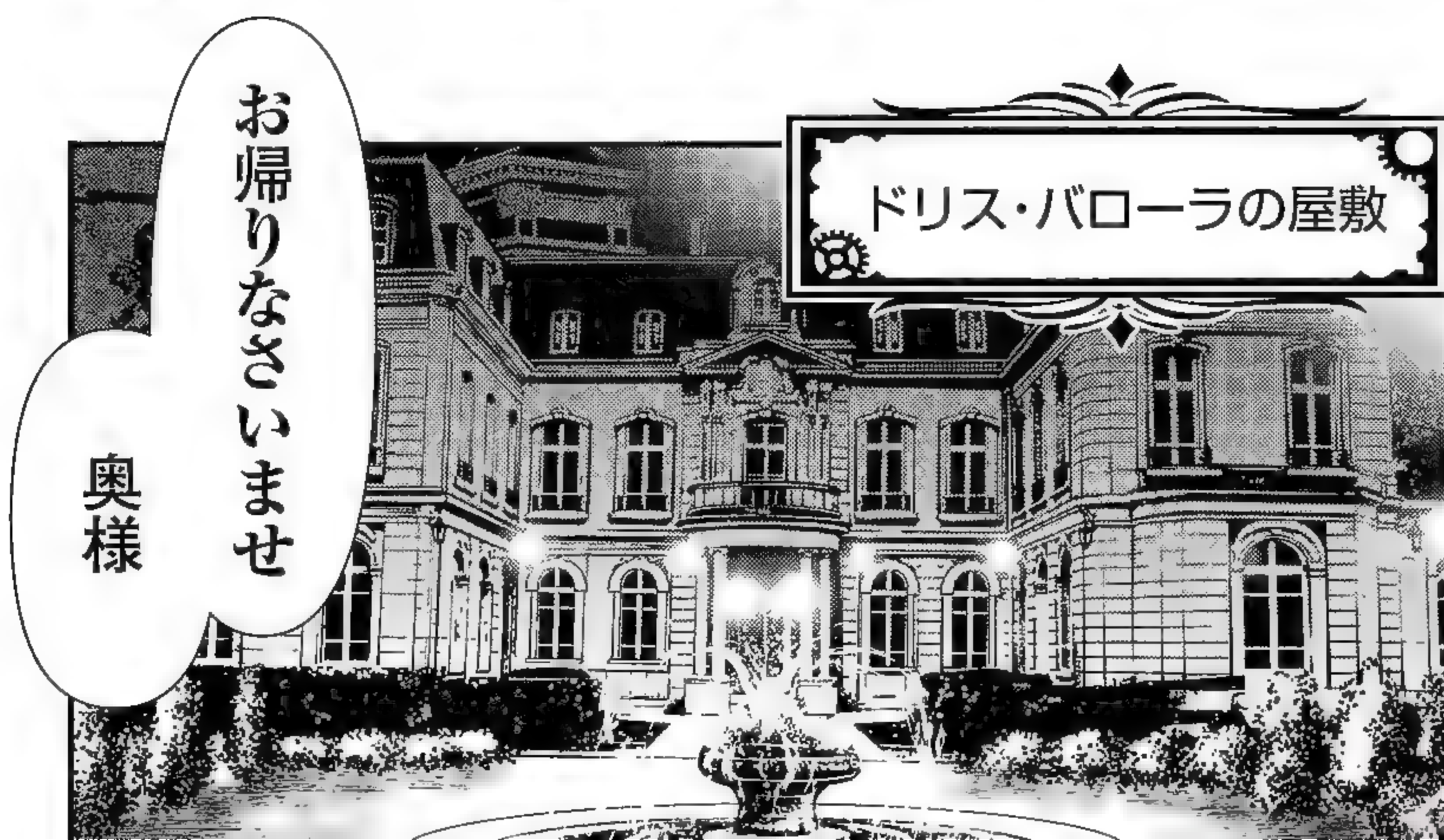
個人の資質と  
政治的信条が  
一致しないことが  
ままあります

私人としては  
好ましい人が

政治家としては  
最悪の敵になる――

そんなことも  
よくあるようですし









あの人は？

旦那様は

お薬を服用  
されて

もう お休みに  
なってらっしやい  
ます

最近の調合は  
お身体に合って  
らっしやるようで…







エレア

今日着た服は  
焼却処分して


すぐに  
湯浴みの用意を

承知しました









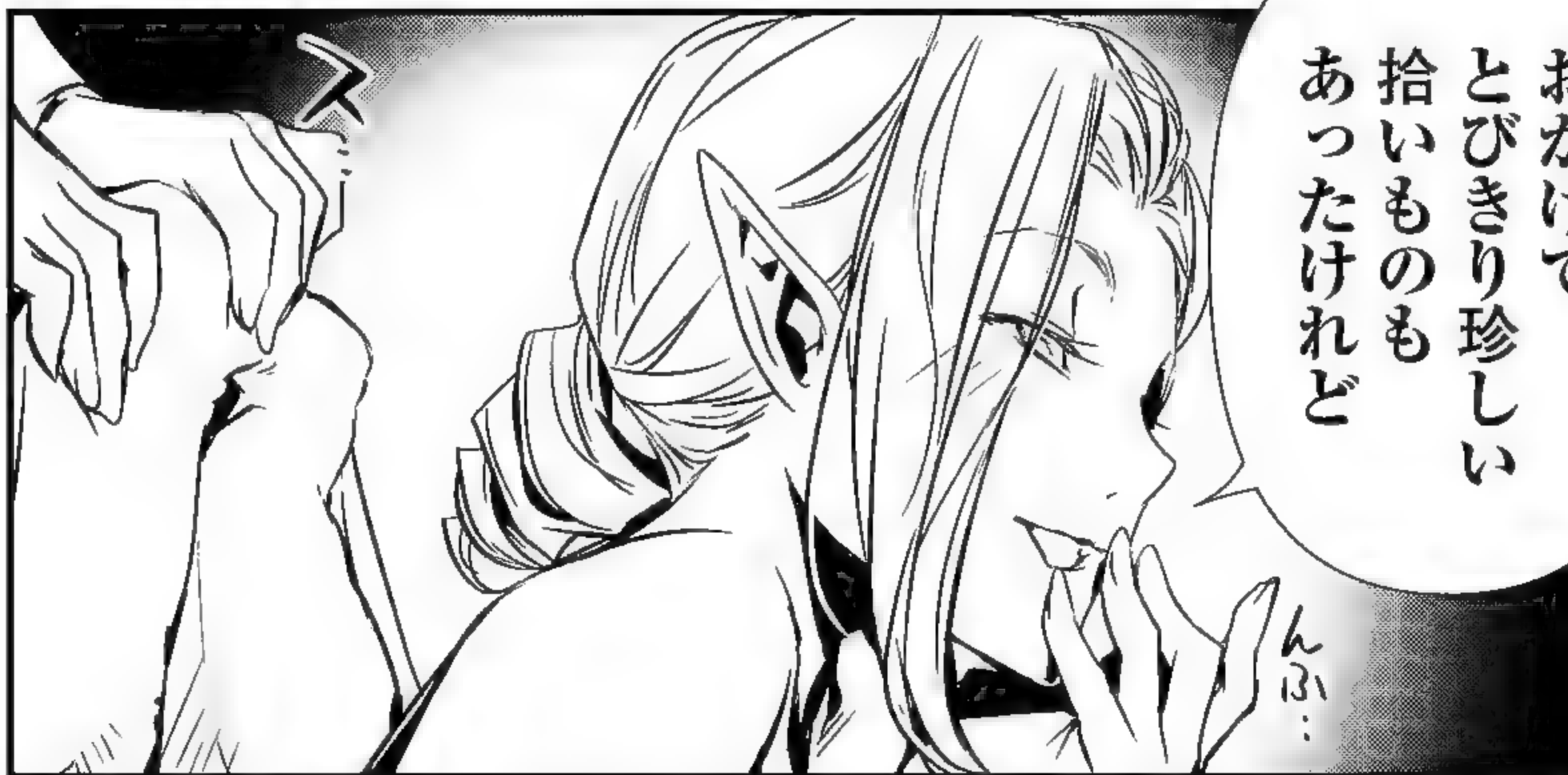
先帝ドレイク陛下の  
唯一の汚点ね

白エルフ以外の  
劣等種族まで  
国内に流入させて  
しまったのは

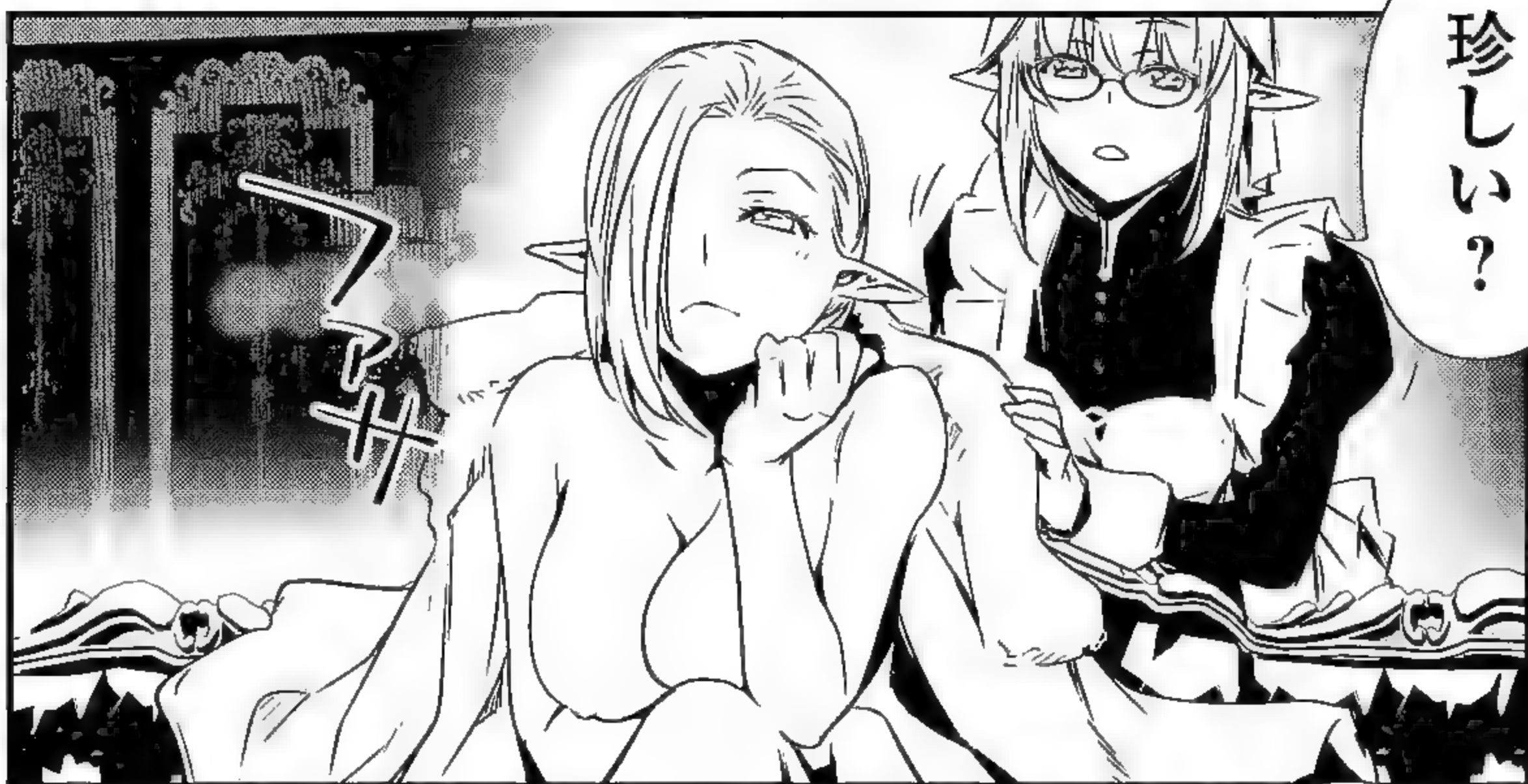


まあでも...





おかげで  
とびきり珍しい  
拾いものも  
あったけれど



珍しい？



ドワーフのメスよ

初<sup>うぶ</sup>そうで  
ぷりぷりしてん...

いままさに熟さんと  
する褐色の果実と  
いったところかしら





明日来るように  
言ってあるわ

ふふ…いまから  
ものすごく楽しみよ

では

今夜は  
どうなさいます？



ご注文されていた  
新しいペットも

届いておりますが  
……

！



もちろん

今夜は今夜で  
楽しむつもりよ

準備して

かしこまりました

それから

本日の  
お手紙はそちらに





ッ  
ッ  
ッ

お尋ねの  
グレイ少佐の件  
ですが

一つ気になる噂が  
ありました

実はあのマスクに  
隠された耳は――

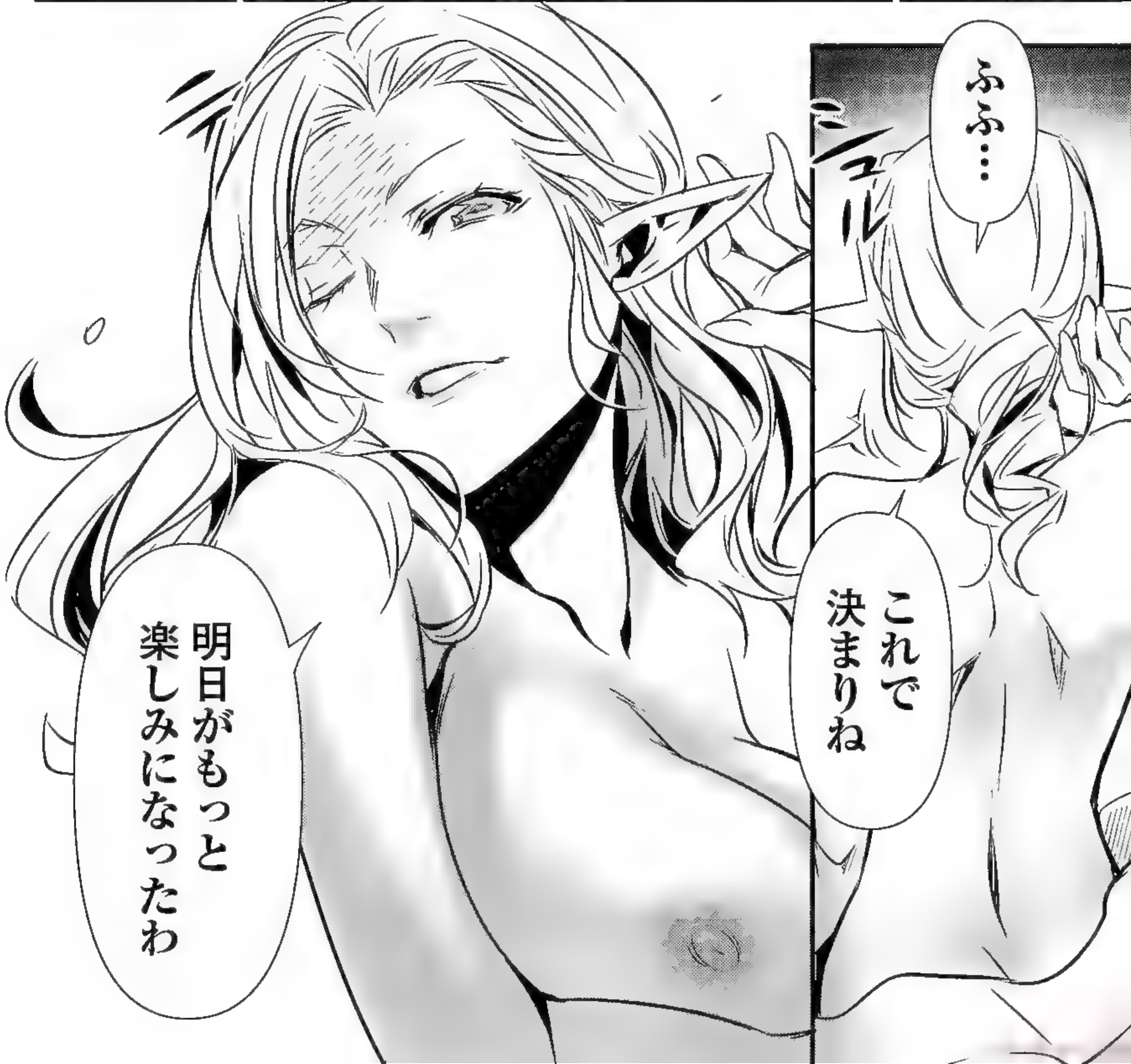
!!



ふふ…

これで  
決まりね

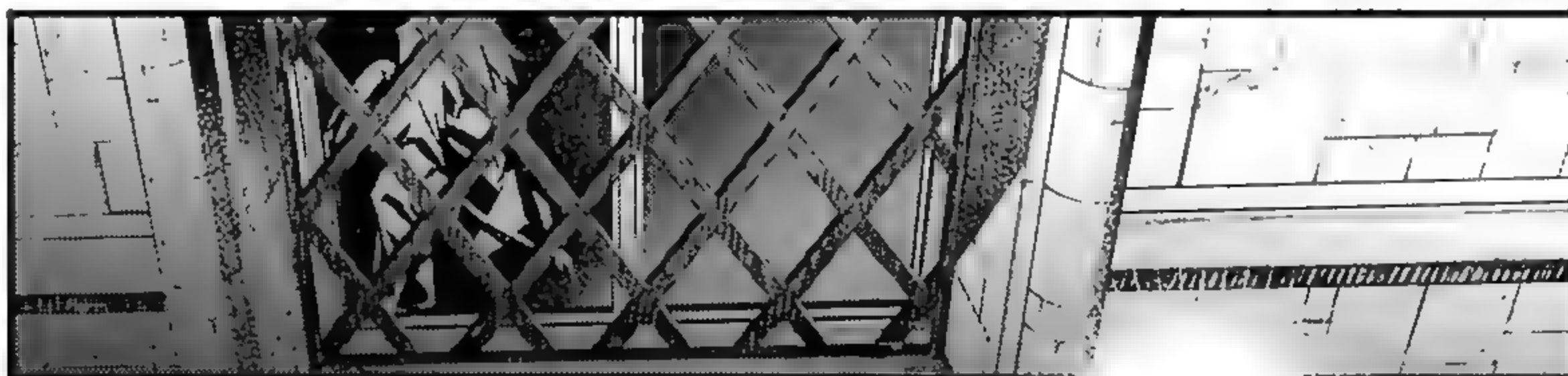
明日がもっと  
楽しみになったわ







ルビノン宮  
——国民議会議事堂



窓は  
はめ殺しで  
格子付き



ドアには鍵と  
外に議会軍の  
衛兵：



元宮殿だけ  
あつて造りは  
豪華だけど

つまりは  
体の良い  
牢屋か：





いよいよ

年貢の納め時  
かな……



いつか  
バレルのは  
覚悟してた

心残りはある  
けど……  
後悔はしてない

でもきつとみんな  
なんとかしようとして  
くれてるよね





.....無茶

しないといいけど...























アッ

いや……

いやああああーッ!!!

ああ……っ  
いいの……

素敵よ……ッ

——もっと……  
もっと屈辱を

のモ

はあ

絶望を  
見せて

私を……っ  
楽しませなさい  
……ッ

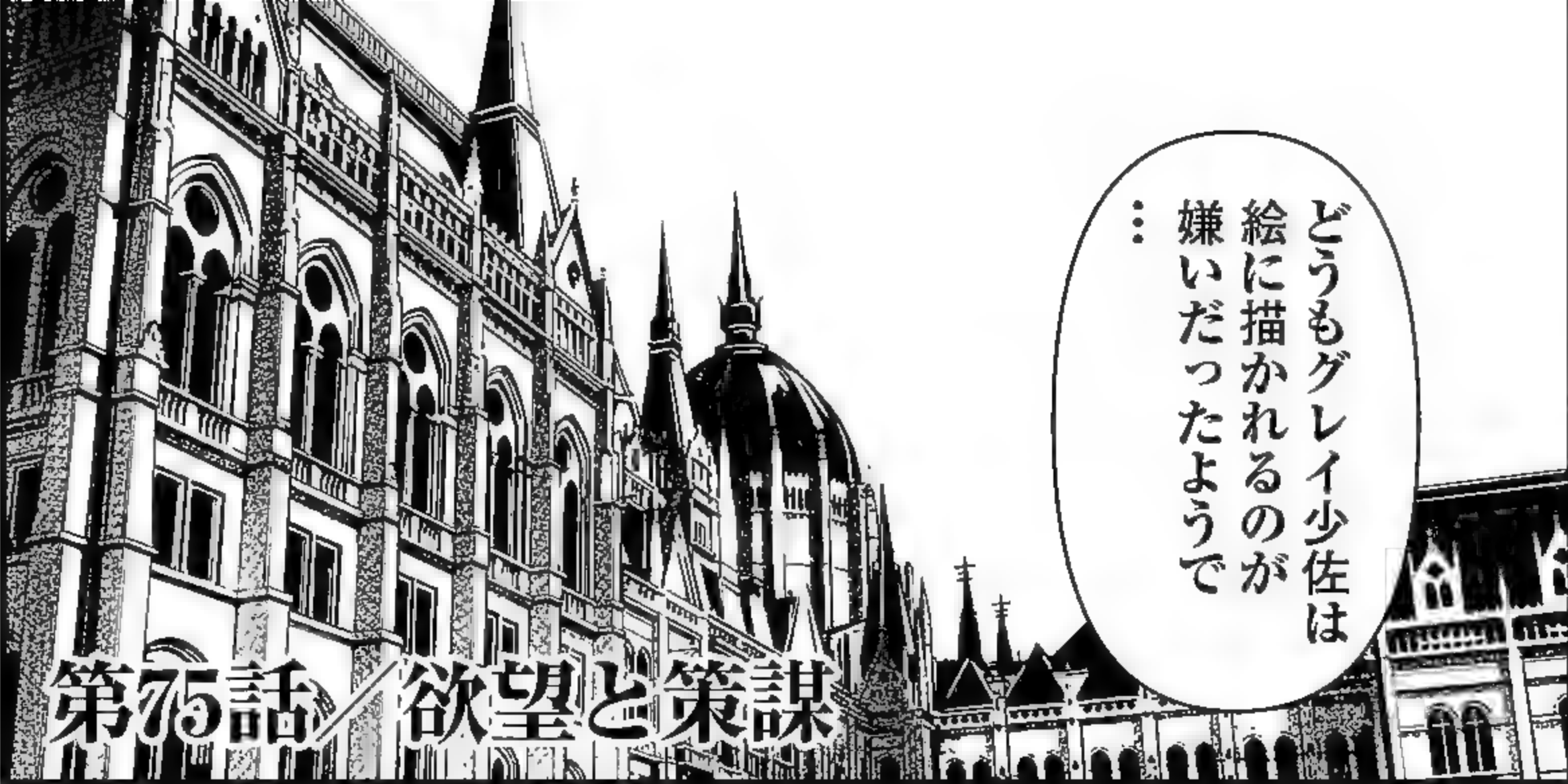


くっ…ああっ

あああああ







どうもグレイ少佐は  
絵に描かれるのが  
嫌いだったようで

## 第75話／欲望と策謀



手は尽くし  
ましたが

肖像画を手に入  
れるのは  
難しそうです



無粋な男ね

そこはいまの  
グレイと同じだわ

……  
議員は――





本当に  
あのグレイが  
偽者だと？

ええ



議員が

そう思われる  
根拠はつまり

あの酔っ払いの  
元軍人の証言と

マスクで隠れた  
耳がかなり短い  
という情報だけ  
ですよね？

…そうね



調査によれば

グレイ少佐は  
母親の種族が不明の  
ハーフエルフです

耳が短いのも

ある意味当然と  
言えますが…

何が言いたいのか？

あれが本物  
だとでも？







レザリアが  
それを知ってなお  
重用していたという  
証拠でも出せれば  
万々歳

もし知らなくても  
監督責任を  
問える――

いずれにせよ

あれが偽者であれば

私たちが議会派には  
好都合なことよ

やはり確実な  
証拠が必要  
ですね

――そういうこと



グレイ・エンフィールド

母親はグレイを  
産んですぐに  
死亡

父親は  
エンフィールド伯爵と  
折り合いが悪く



グレイの  
幼児期に海外に  
出て貿易に  
従事

以後

父に連れられ  
世界各地を  
転々とする



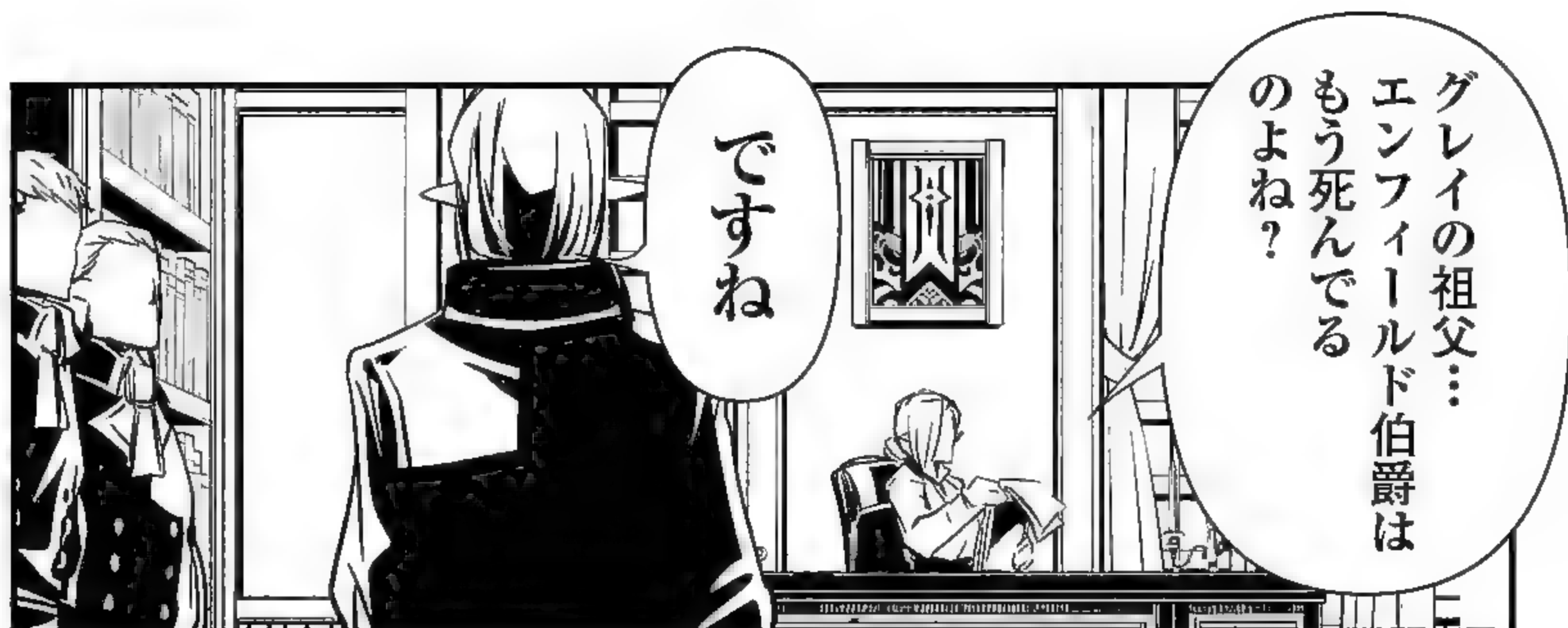
そして十五歳の時

マラガにて  
レムリアン  
カンパニーに  
入隊

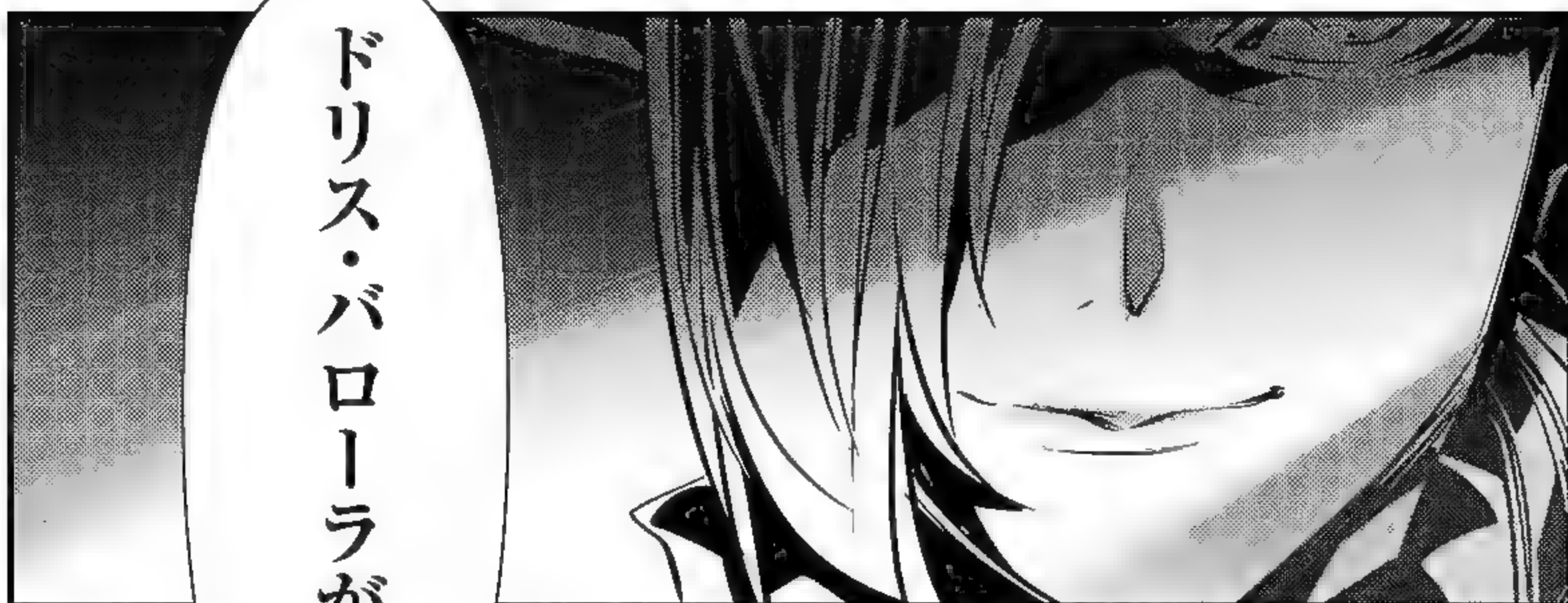
二年後に  
父親は死亡…



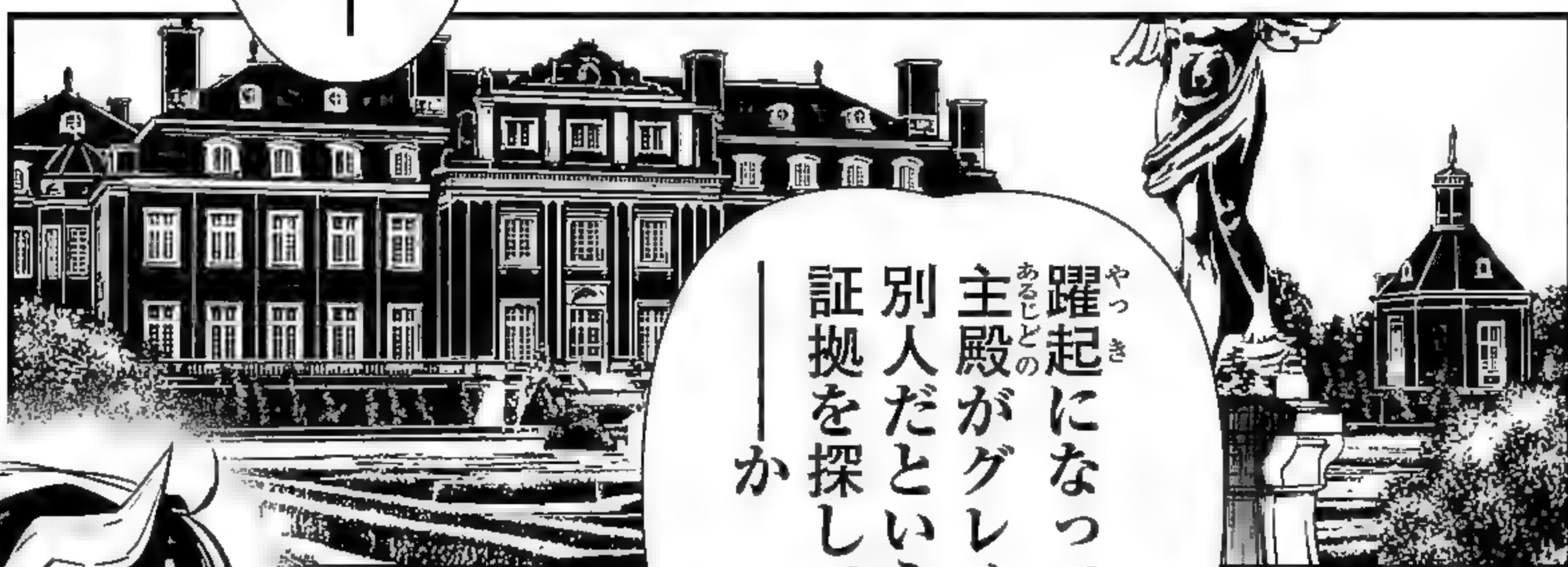








ドリス・バローラが――



躍<sup>やつき</sup>起<sup>あがり</sup>になって  
主殿がグレイと  
別人だという  
証拠を探している  
か――



ええ





私は昨日

ドルネアと  
別れてから  
ルビアンに行った  
のだけれど――

久しぶりね

サクラ

ミ



ライザさん!!

その……  
心配

かけたわね

いろいろ

ありがと



よかった…!!

すっかりお元気  
なんですね

ライザさん!!

うん!!

—で  
今回の件  
ちよつと相談して  
みたの

そしたら—

グレイ少佐の

素顔の肖像画が  
ないかって  
問い合わせが?

はい

僕の父は  
画商で…  
個人の肖像を  
描く画家の  
仲介をしているん  
ですが

そんな  
問い合わせが  
あった

と





かなり  
高額の報酬を  
提示された  
そうです

……!!



役に立ちそう？

……うん

ありがとう



恋人同士よ

…その…

『人魚の血』に支配  
されていた時の  
記憶は

みんなほとんど  
忘れてる筈<sup>はず</sup>なん  
だけど…

それでも

おぼろげに夢みたい  
に思ってる子たちも  
いて



ところであの二人  
もしかして…





それを運命  
みたいに感じて

学園中で  
山のように  
カップルが  
出来てるのよ

イチャ



——まっ  
それは余談  
なんだけど

でも

よかったです

ちよっと  
いろいろ心配  
だったしね

はい

だけとき

肖像  
欲しがってるって  
ことは——



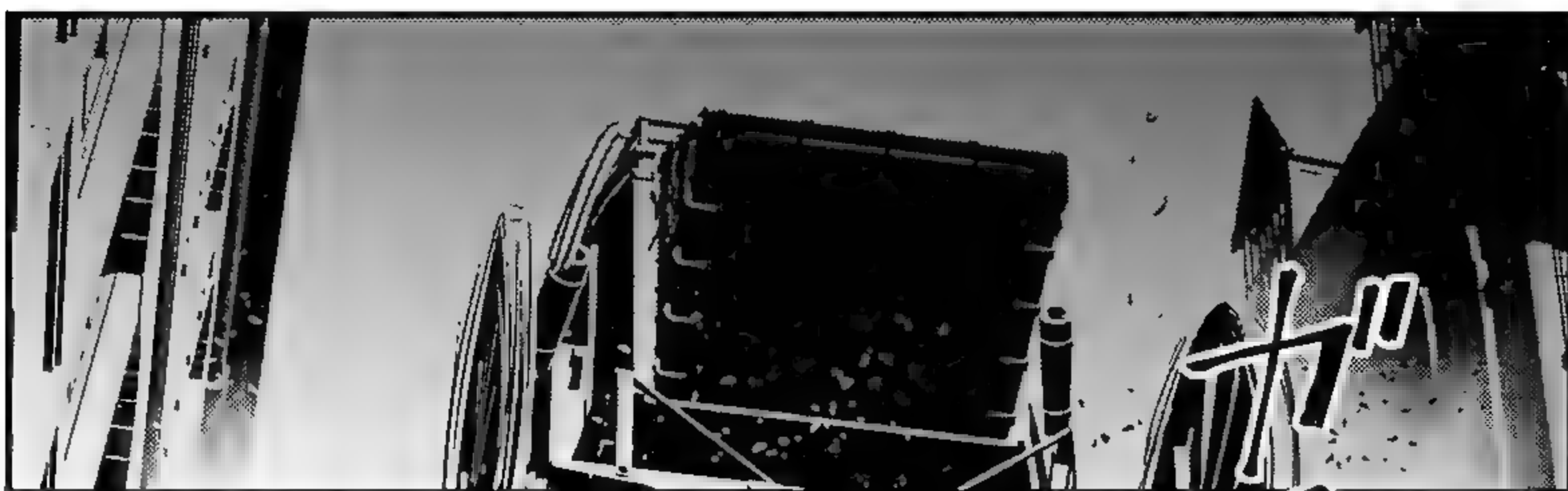






だから  
安心召されよ  
姫君たちよ

.....



……ギルさんが  
ああいうつてことは

本当に厳しい  
状況なんだ

ドリス議員に  
会うことを  
言えば

みんなは  
きっと止める



……でも

何か  
少しでも  
私にできる  
ことがあるなら  
……!!





ようこそ

ドルネアさん!!



よく来て  
くださったわね  
歓迎するわ!!



それであの

実は

お願いしたい

ことがあるんです

けど……

もちろん  
うかが  
伺うわ



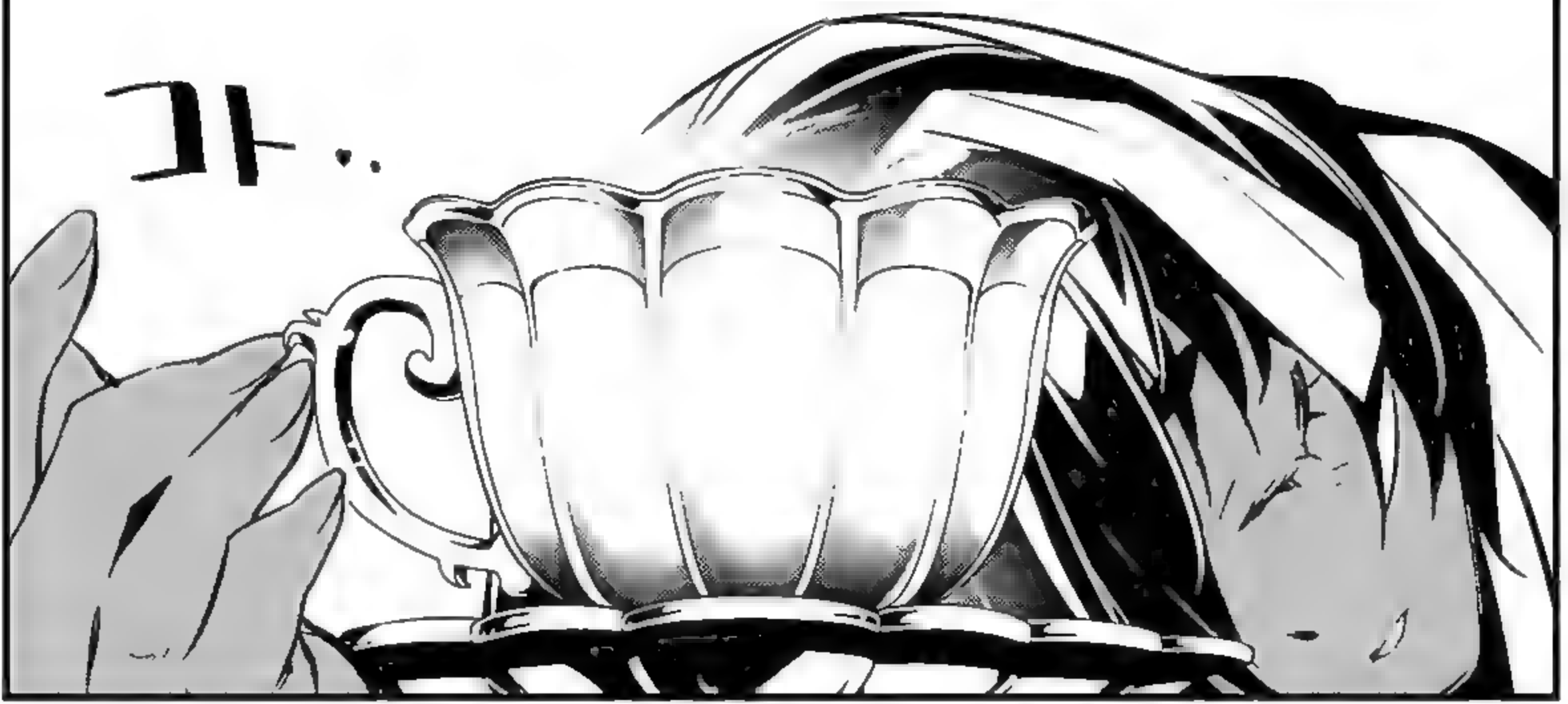
でも

私夕食が  
まだなの

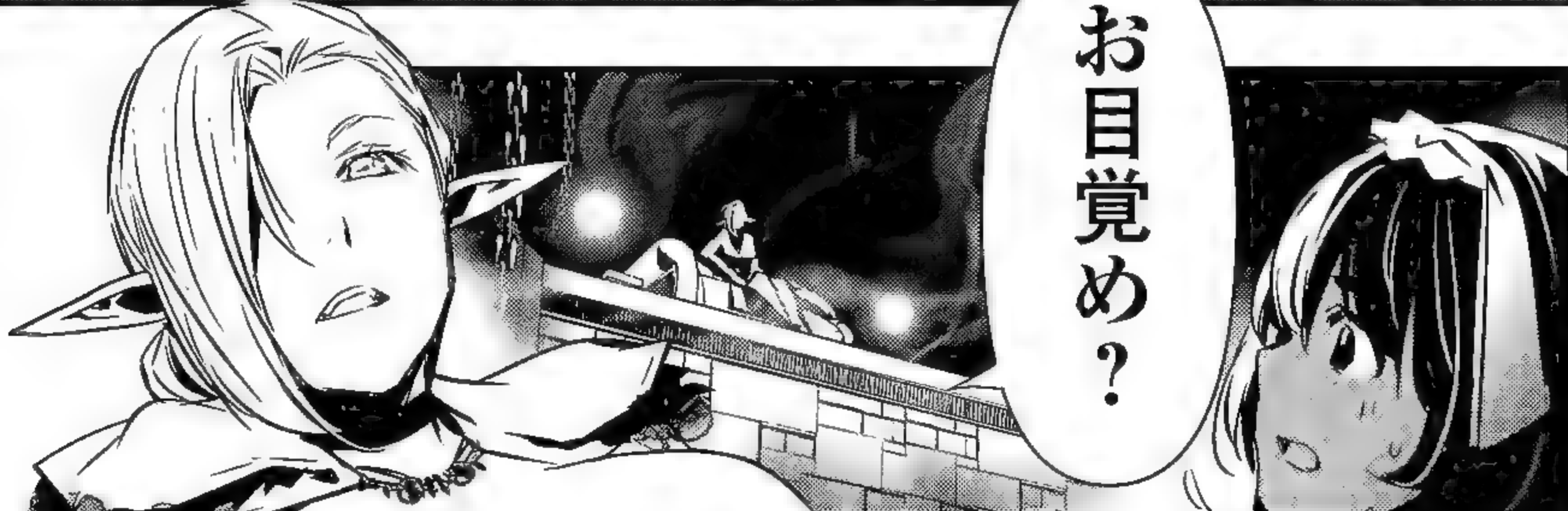
















……これは

どういう

ことなのですか

ドリス議員



あらあら

生意気な  
口を利くこと

劣等種族の  
ドワーフの  
分際で




劣等……!!

——この世界には  
様々な種族が  
いるわ

神々がたわむれに  
生み出したとしか  
思えない  
下等な種族も多い……





ゴブリンや  
オーガのように  
力ばかりで  
知性の足りない  
もの

逆に力もなく  
ぜいじやく  
脆弱すぎる  
種族

トカゲや獣と  
変わらない

ケモノと見紛う  
みまが  
ものたち…

けれど  
私たちは違う

美しさと知性を  
兼ね備えた

最も完成された種

——それが  
白エルフよ



ゆえに――

私たちには

劣等種を導く  
義務があるの

世界を制覇し

科学を推し進め

神々が去ったこの世界を  
正しく率いていく  
義務が

この人は  
……!!

そして義務を  
引き受けたもの  
には権利が  
生まれる

――お前のような  
劣等種族を

私たちの自由に  
する権利がね!!

……!!

そんなの……  
ぜったい

おかしい……





絶対変です!!  
そんなの!!



あらあら

思ったより  
反抗的ねえ  
……

でもあなた

そんな口を  
利いて良いの?



私に何か

頼み事が  
あるんじゃない  
なかったかしら?

——グレイ少佐の  
ことで

エレア  
鎖を外して

はい





キララララ...



優等種族が  
劣等種族に  
命令するのが  
気に入らないなら  
やめてあげる

あとはあなたの  
自由意志に任せる  
ことにするわ



イヤならとつとと  
お帰りなさい

どうする？

ドワーフの  
お姫様

何をすれば  
いいんですか？

そうねえ...













脱ぎました



随分と  
思い切りがいいのね



よく言われます



いいわ



いつまでそうやって  
平然とできるのか

試してあげる



次は  
そこに横になって

膝を立てて  
脚を開きなさい

!!

できないの  
かしら？













その表情も

羞恥に染まって  
上気してきた  
その肌も……!!

さあ…  
いよいよ

あなたのすべてを  
見せてもらいましょう—





もつと私を

愉しませて……







その豚どもと  
交尾するのよ!!!





## 第76話／ドルネアへの魔手





何をモタモタ  
してるの!?

早く股を開いて  
その豚どもを  
受け挿れなさい





お前は私に  
泣きつきにきた  
のでしょう？

あの偽モノ<sup>にせ</sup>の  
グレイ・エンフィールドを  
助けてくださいって――

そうだ……

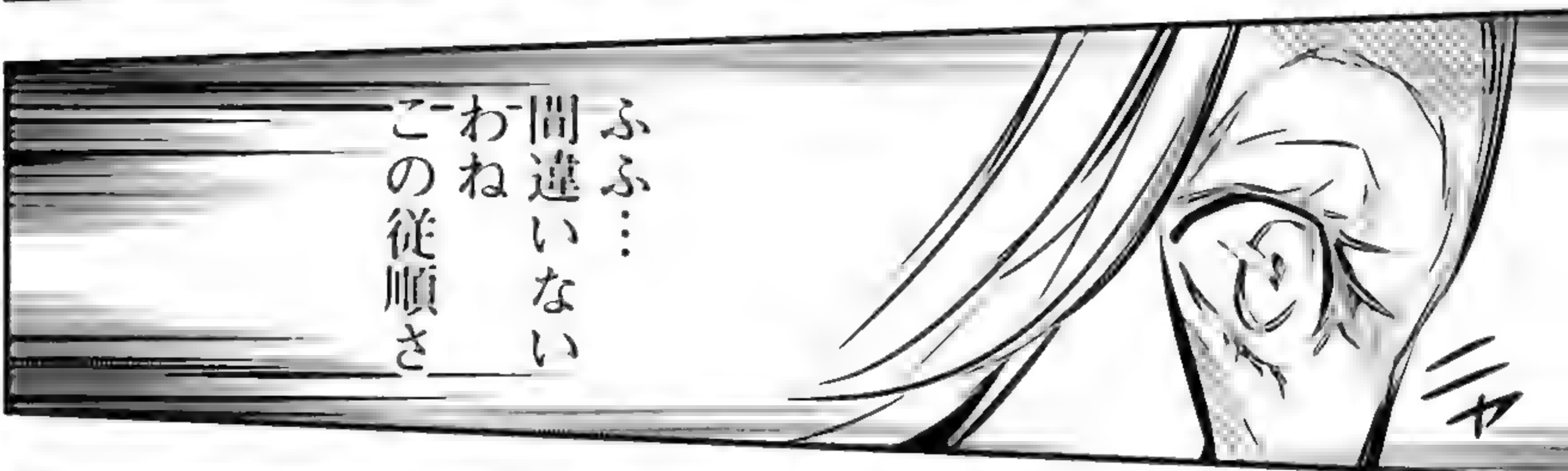
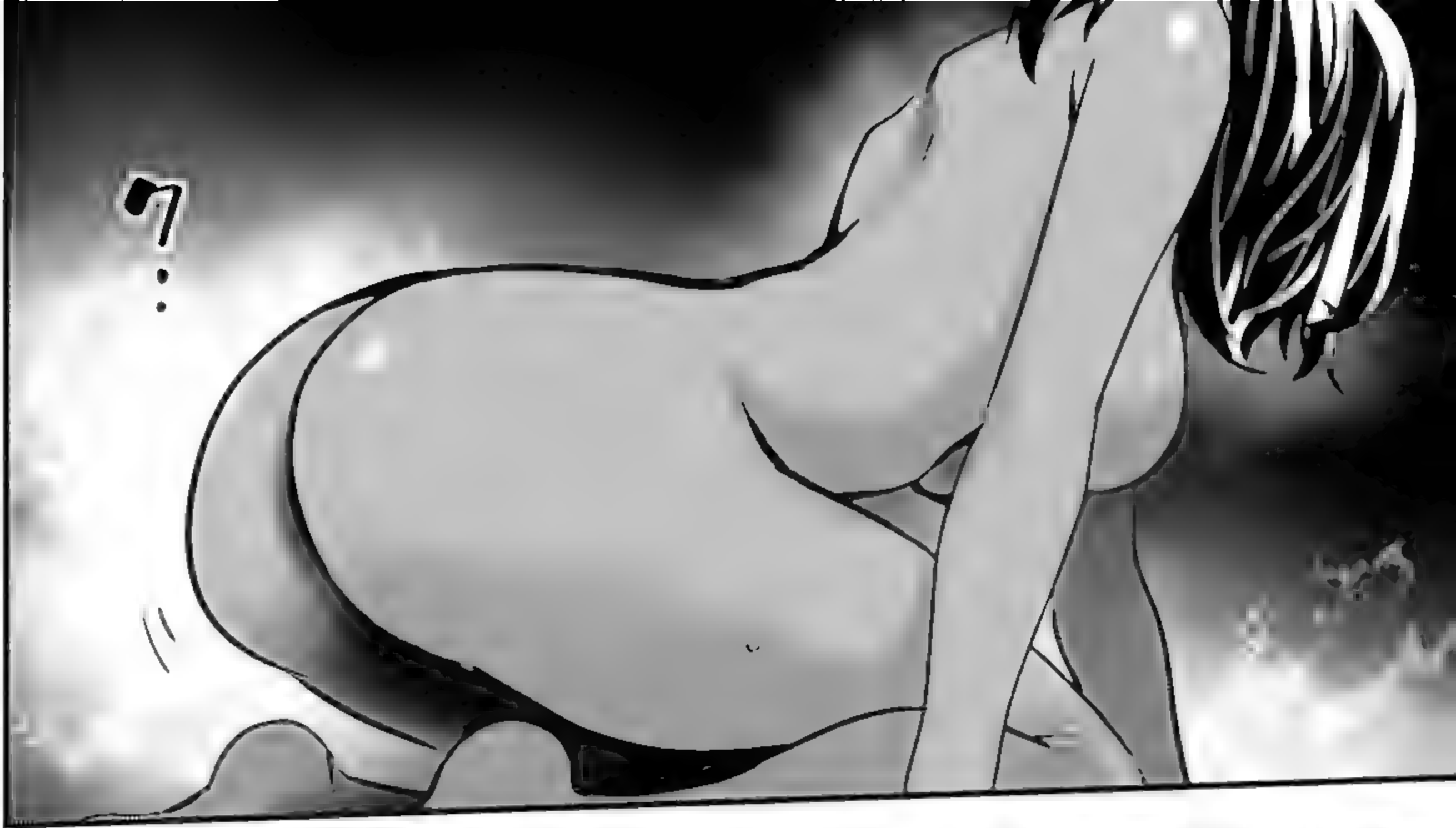
わたしが  
ここで我慢  
すれば  
カイさんは……！

ならとつとと  
這いつくばって  
尻を高く上げなさい

ブタどもがお前に  
突っ込みやすい  
ようにね!!!











……

キ

月夜曲を  
歌いながら  
ことば  
囁みに囁つて  
みたりたり





疑・つ・て・る・…・!!?

わたし…なんて  
馬鹿なんだろう  
…!!

お  
お  
お

はやくなさい!!  
怖<sup>お</sup>じ<sup>け</sup>気づいたの?

違います!!

やっぱりわたし  
あなた  
貴女の言う通りに  
なんかできません!!





あら…あなたの  
大切な偽モノの  
少佐がどうなっても  
いいの？



よくはないです  
けど！  
ここまでする  
謂<sup>いわ</sup>れは  
ありません

だって――

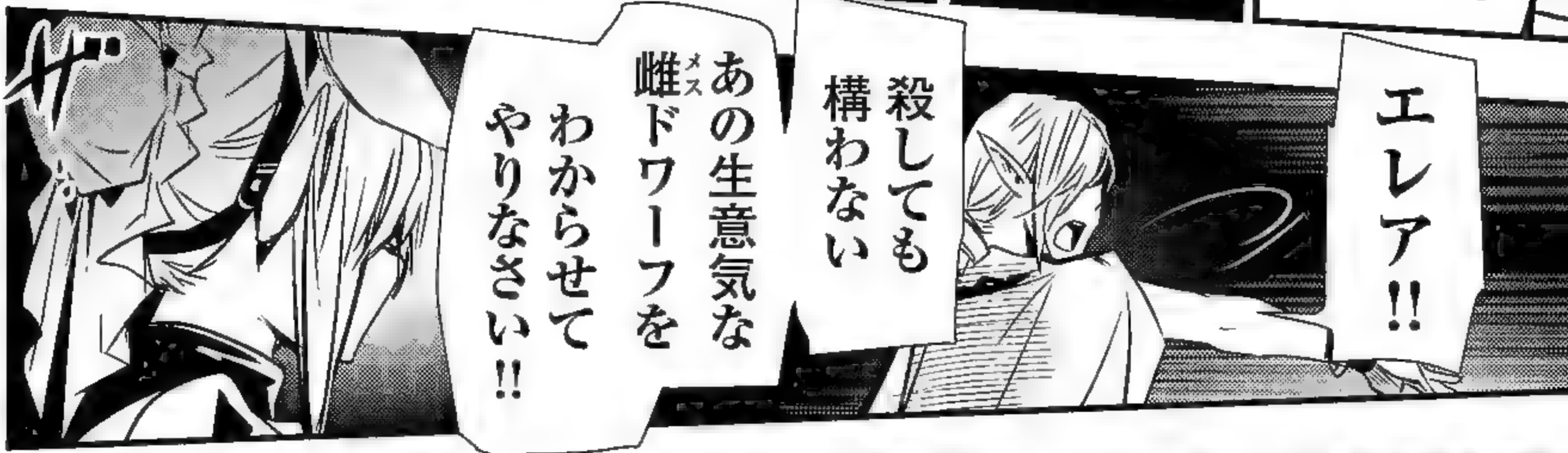


あの人は偽モノ  
なんかじゃない…

本物のグレイ少佐  
ですから！！

そう  
ほんものの…わたしの  
大切なカイさんだから!!!





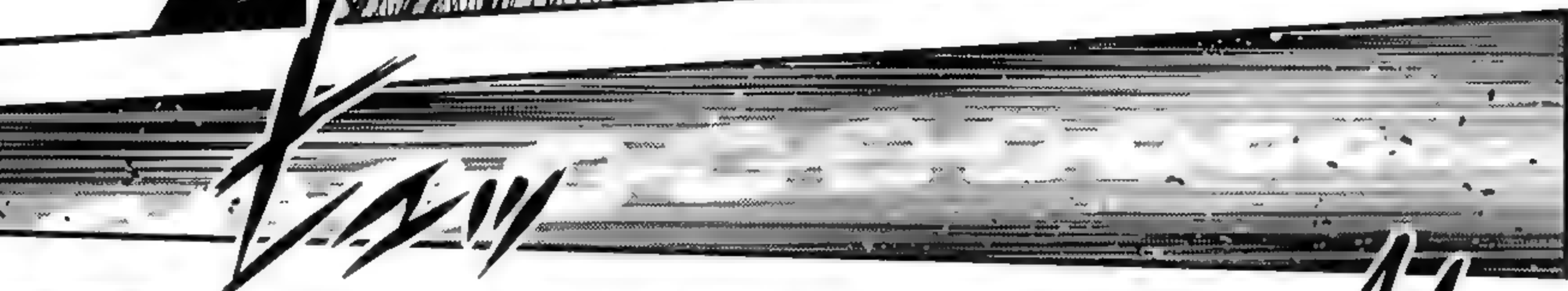
















なんて馬鹿  
なんだろう!!

ほんとに  
わたし!!



なのに私が  
言う通りになれば――



議員はまだ  
決定的な証拠を  
手に入れてない  
はず



いま肖像画を  
探しているなら





それが証拠に  
なっちゃう!!!

「ここまではして  
助けようとする  
のだから  
やはり少佐は  
本当に別人なんだ」  
って!!!



だからいま

私のすべきことは

ボキ



全力で抗うことなんだ!!!

あらが











やめて  
ください!!

私  
もう  
帰ります!!



ダメよ  
この地下の  
秘密を  
知られた  
以上は



それは無理

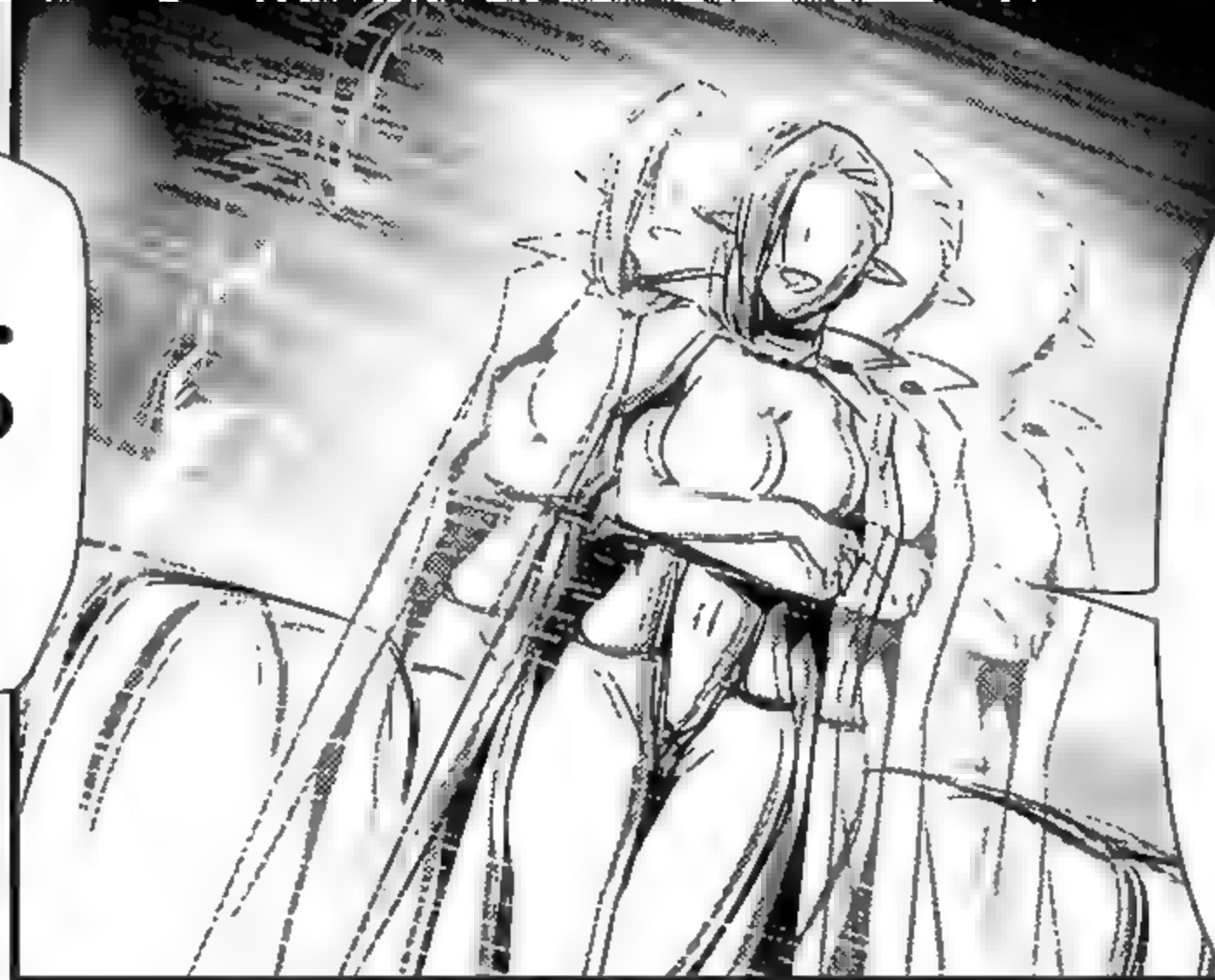
だったら  
力<sup>ず</sup>尽くでも  
ここから出て  
ゆきます!!







えっ…



気付いてないの？



!!?

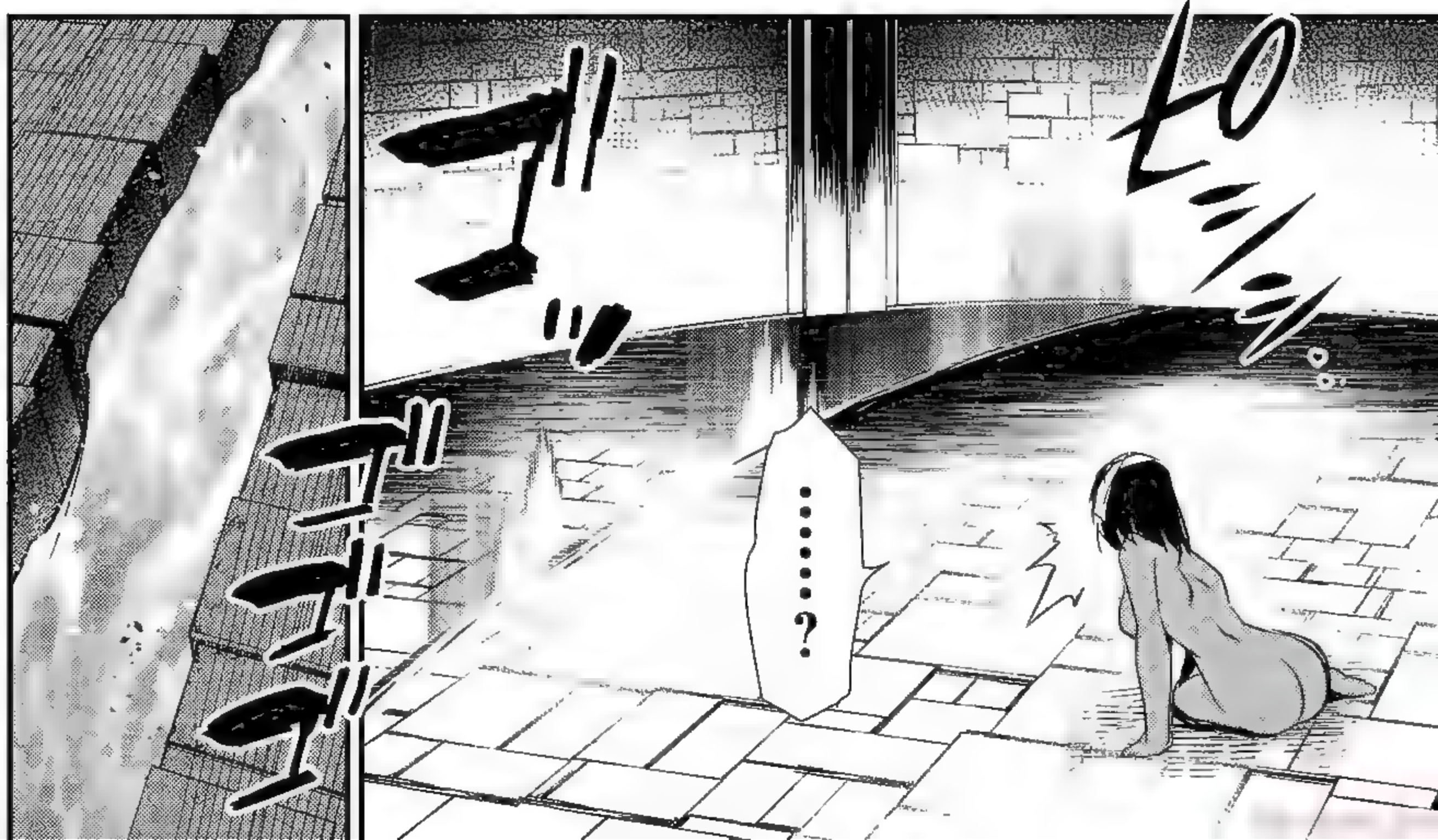
そんな…全部  
撃ち落とした  
はず—



……!!















はあ

はあ

い...や...



ド...

はあ

う...

うちのゴミ処理係は

はあ

ズ...





メガラニカ  
暗黒大陸直送の  
スライムよ



——大型動物すら

溶かして捕食する  
凶悪な種類のね!!

あ…ッ!!

やあ…っ!!

その表情

素敵よ

最後にやっと  
満足できそう…!!

グェ





んくう...!!

—ああっ...!!





獲物をマヒさせて

生きたまま  
何週間もかけて  
じつくり溶かして  
ゆくそうよ



その過程は  
世にもおぞましい  
苦痛なのだから



——さよなら

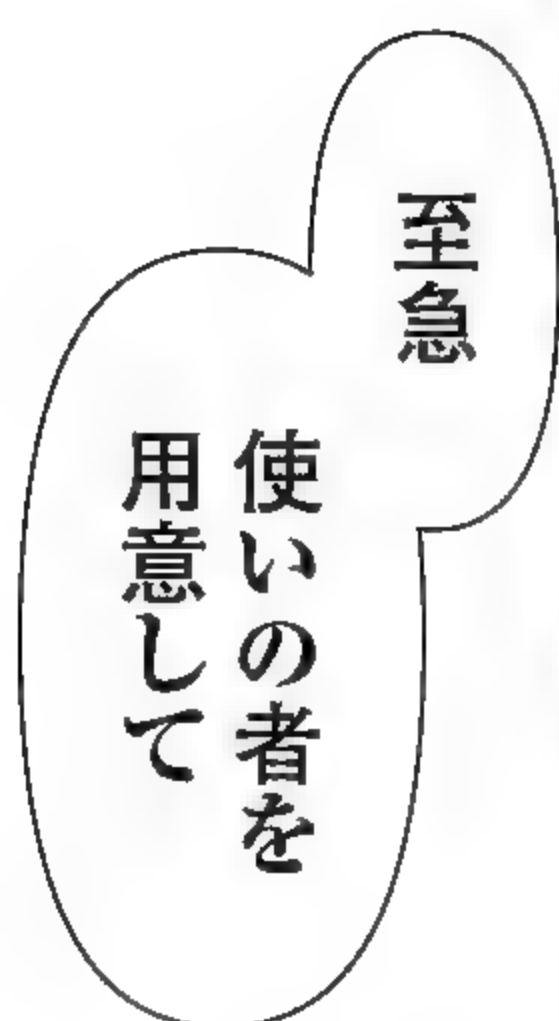
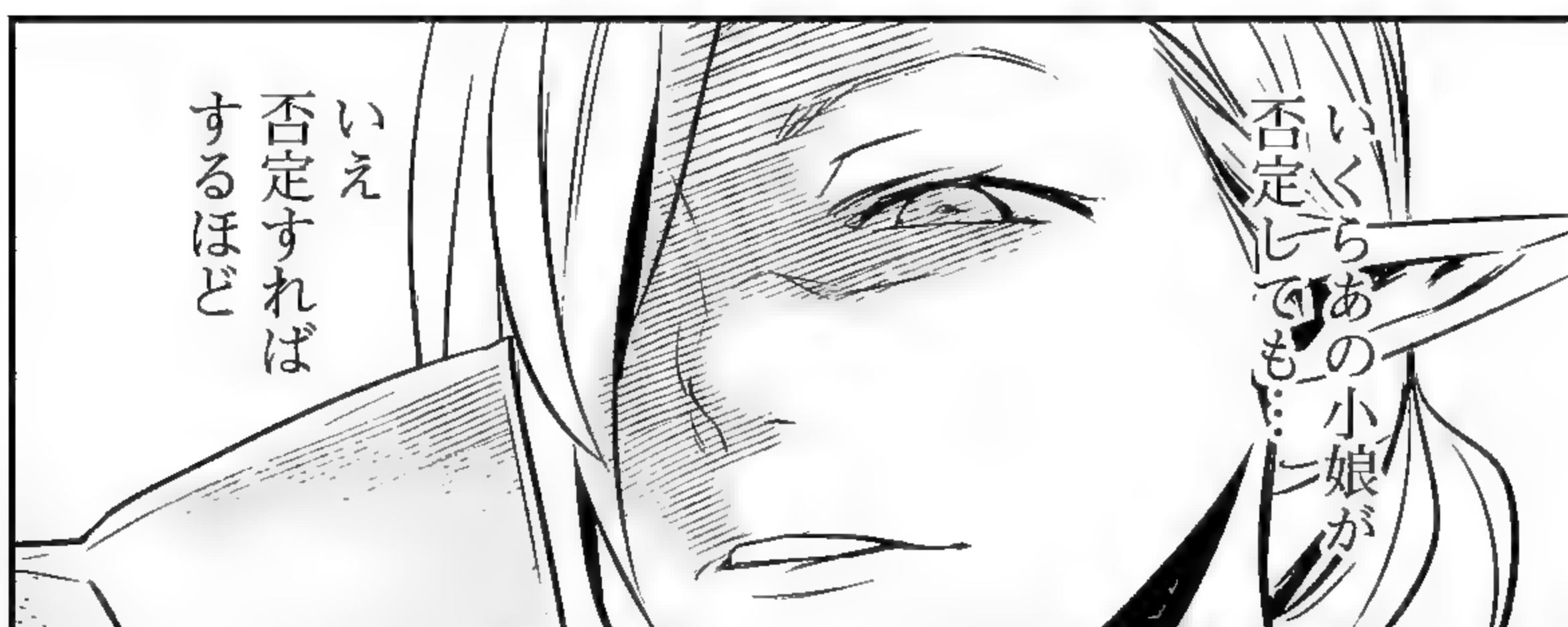
可愛いドワーフの  
子豚ちゃん

ズググ...









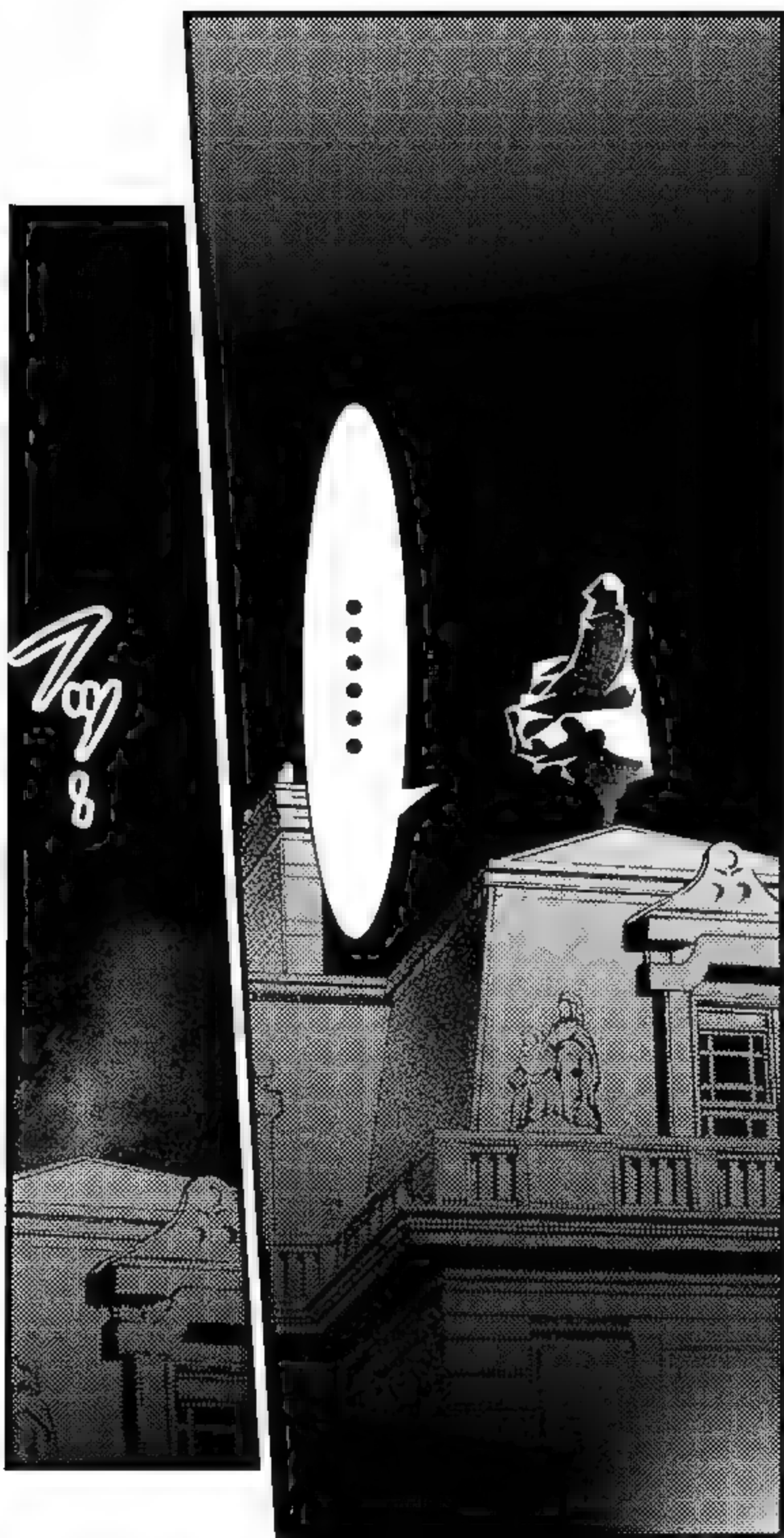




議長閣下に

査問会議の開催を  
要請します

これで詰みよ  
偽グレイ……!!!





——査問会議当日







なら  
女王といえど  
拒否はできんな…

それで――

グレイの背任の  
立証

ぬかりは  
ないのか？



もちろん  
勿論ですわ

お義父さま


査問会議の  
傍聴希望の方は  
こちらに並んで  
くださいく!!

人数多数につき


抽選に  
なりますく!!







ふふ…凄い  
人気なこと



グレイ・エンフィールド  
…ヤツが結果を  
出してきたせいで

最近では議会内でも  
王党派の連中が  
のさばっておる




だが今回は  
絶好の機会だ

この査問会議で  
グレイを断罪し

グレイを重用する  
レザリアの責任も  
追及する

そして――




ゆくゆくは  
王権を停止し  
市民革命を  
成し遂げる



はい

お任せください





さあ  
参りましょう

お義父さま

最高のショーを  
ご覧にいただけますわ！



## 【種族差別問題】

様々な人種、生物種が存在する神呪世界において、現状、支配的種族になっているのは、白エルフと黒エルフに大別されるエルフ族である。そもそも排他的だったこの種族は、神代終焉の兆しが見え始めると、いちはやく科学の発展に目を向け、魔法に頼らない造船・航海技術、また工業の発展、農業技術の改革などに乗り出し、他の種族に先んじて成果を上げ、その力をもって世界に乗り出し、他種属を圧倒して植民地を広げて来た。

しかし、この拡大に伴い、制圧した科学発展に遅れた他種属を下に見る、差別主義が蔓延しはじめたのも事実である。一般に、言語によるコミュニケーション可能な種族は知能のばらつきこそあれ、基礎的な能力はエルフと変わらず、種族特性によってはエルフを陵駕する部分もあり(獣人族の身体能力、鬼人族の傷病・疾病耐性の高さ、ドワーフの基礎体力の高さや筋力、集中力etc……)、かつてはエルフを隷属下に置いた獣人族の国もあった。しかし、銃器を始めとした近代的な武器の登場はその種族差を無効化し、つまりは文明と富を手にした種族こそ他種属に優越するのだ、という思想を生み出し、植民地主義、奴隷制度の拡大とあいまって、過激なエルフ至上主義を信奉する者も現れ、各地で軋轢を引き起こしてきたのである。

現在では、その反動からか『かつて、神々は、それぞれの種族が得意分野で協力し合うよう、異なる特性を種族ごとに与えて様々な種族を創造した。よっ



て、全ての種族は等しく尊重され、自由であるべきだ』とする、全種族分業論を唱えるのも現れているが、まだ少数派である。



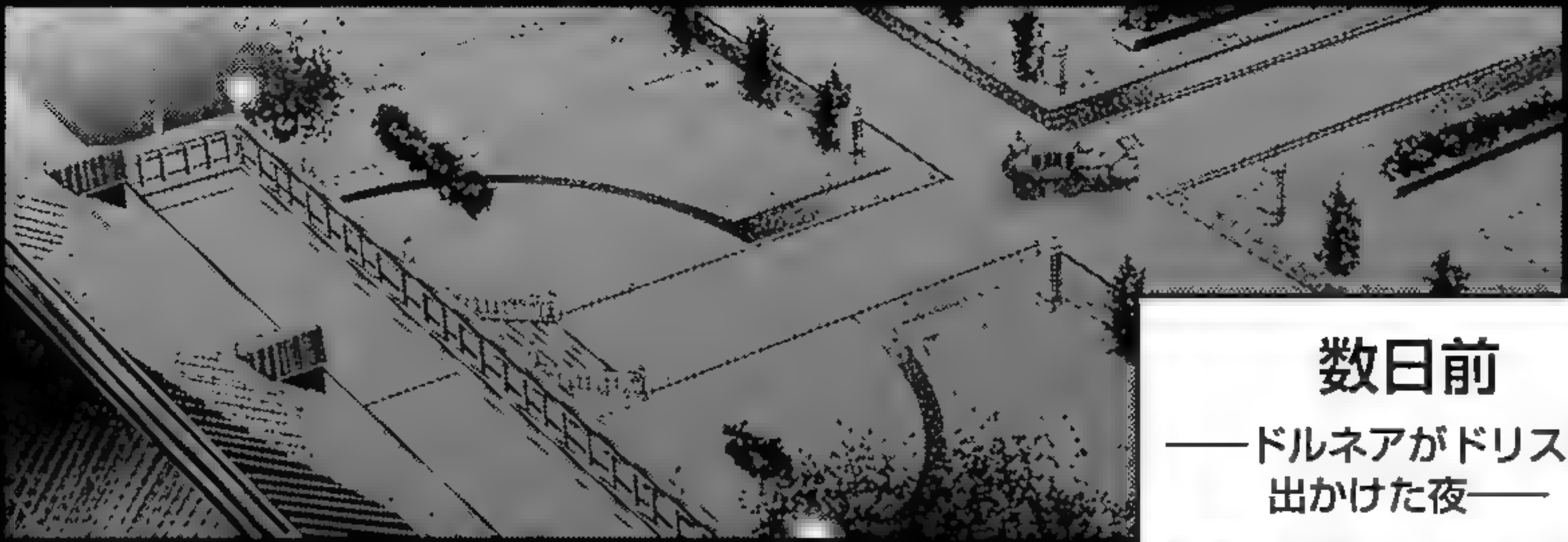




## 第77話／査問会議







数日前

——ドルネアがドリス邸へ  
出かけた夜——



やがて  
頑張り  
なげや

アリス

ガラッ



ドルネア様が  
出てゆかれました

—— おおかた

ドリス議員にでも  
直談判に  
行かれるつもり  
なのだろうな



お気持ちちは  
わかります

カイ様のため  
いてもたっても  
いられないの  
でしょう

世話の焼けることだ

シズナ

頼む

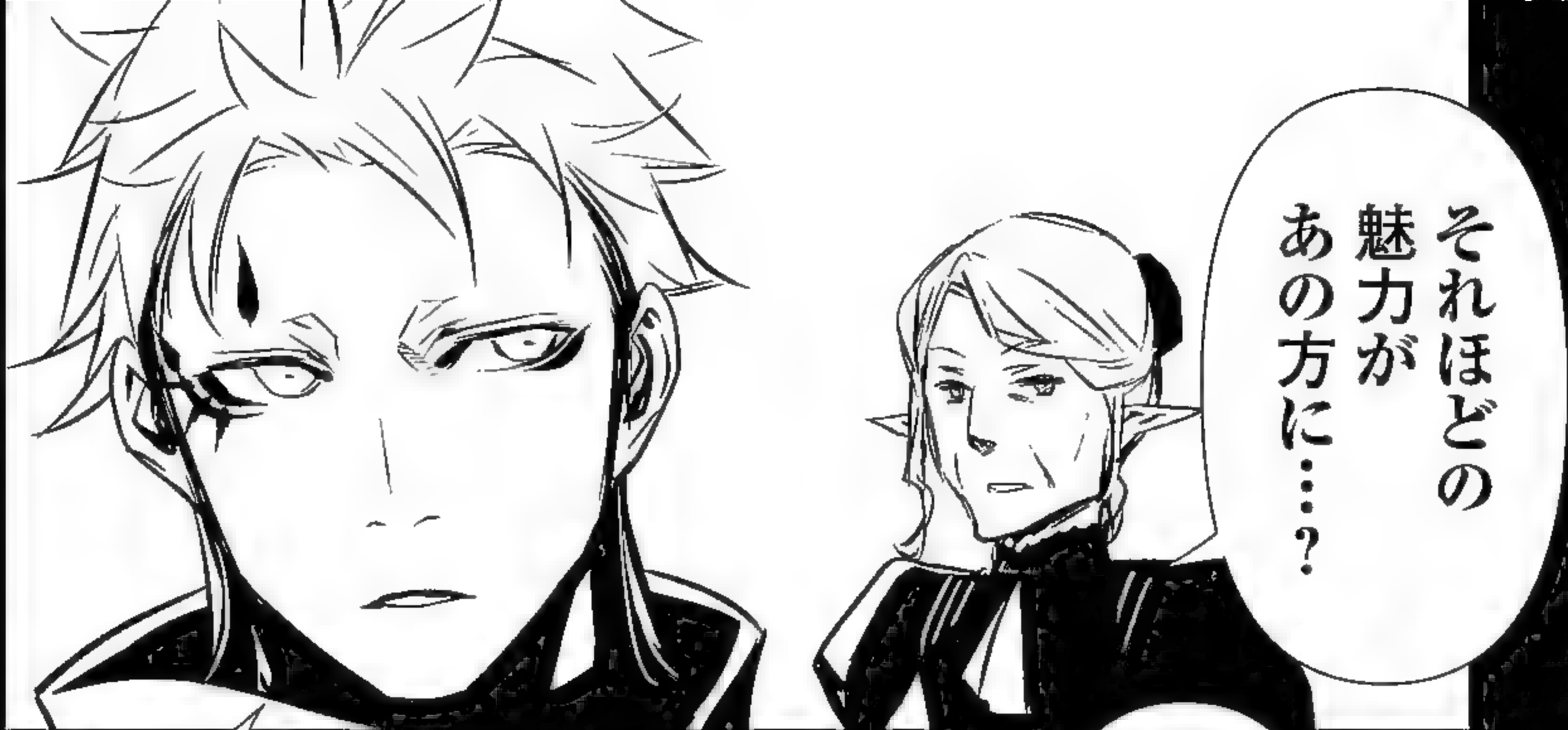
承知しました

……誰もが  
まったく厭<sup>いと</sup>わずに  
カイ様のために働く

本当に

皆様はあの方が  
好きなのですねえ……





それほどの  
魅力が  
あの方に……？



サクラ姫や  
ドルネア姫に  
とっては特に

な

命の恩人でも  
あることだし



では――  
あなた  
貴方にとっては  
いかが  
如何なのです？

契約の枠を  
越えて

カイ様のために  
働いているように  
見受けられますが

これは異なことを



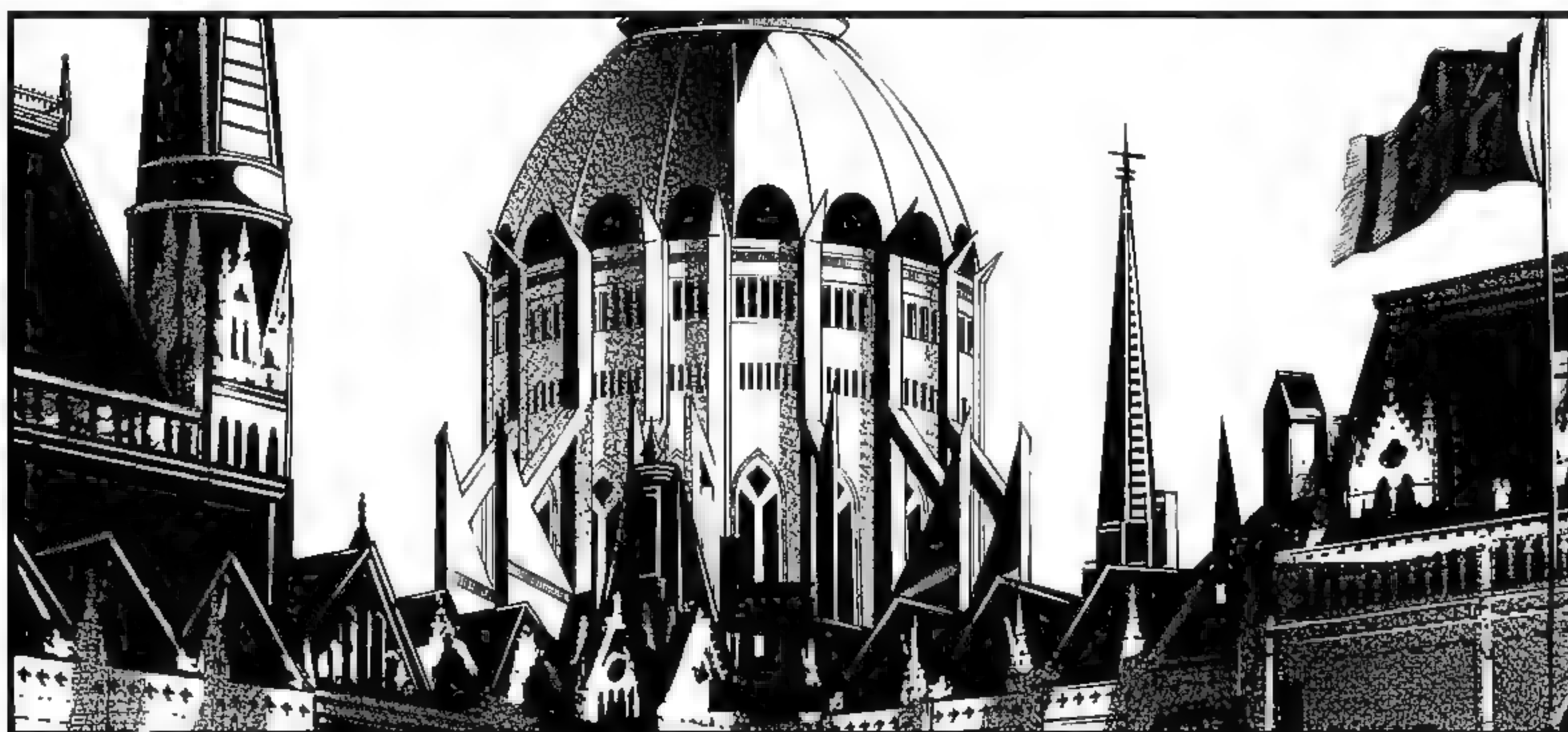
俺の見立てでは

あなた  
貴女は相当に  
複雑な経験を  
積んできた女性だ

我が主殿の人品を  
判断するのに

俺の意見など  
不要ではないのか？

.....













レムリアン・カンパニー所属  
アルビオン王国軍少佐

グレイ・  
エンフィールド氏への

第一級背任容疑に  
関する査問会議を  
執り行います





被告は宣誓を



アルビオン創世の王

デイス・パテルの  
名にかけて



当査問会での私

グレイ・エンフィールドの  
発言は

全て真実である  
ことを誓います



ではまず――





背任容疑の  
告発内容を述べて  
いただきますよう

——ドリス・バローラ議員

はい

議長閣下  
かっか



被告は

軍からの命令を受け  
我がアルビオンと  
通商協定を結ぶ

シンシヤール帝国  
での作戦に  
おもむ  
赴いた際——



非合理的かつ  
無謀な

いち軍人としての  
分をはるかに  
超えた行動を  
繰り返し

著しく我が国の  
国益を損ねました

これは

国家と人民に  
対する

明らかな  
裏切り行為で  
あります

議会はその  
詳細を詳らかにし

被告の背任行為を  
明らかにすると  
共に――







被告を任務に  
就けた直接の  
上司である

リュカ・ローシエル殿下――



ならびに

被告を任命し

また本作戰を  
承認した



レザリア陛下の  
責任も

追及させて  
いただく所存で  
あります!!

陛下も  
告発するのか  
……!!

議会は  
正気か!?

英雄グレイが  
国を裏切った  
って…

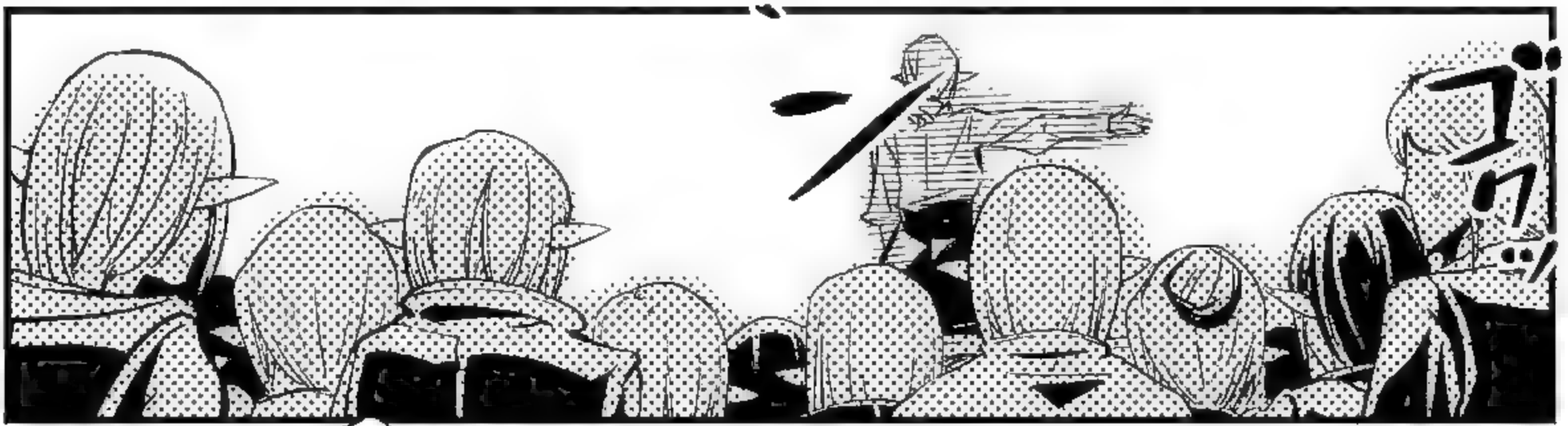
そんな  
バカな!

静粛に!!

静粛に!!!













そうして始まった  
査問会議は――

さながら  
「ドリス劇場」  
のようだった

おれの弁護には  
レージュさんが  
立ってくれた

ろくに打ち合わせも  
させてもらえない中で

頑張っ  
てく  
れて  
いる



ではつまり――

あなたが  
手をこまねいて  
いる間に

ラーフの化身を  
名乗る青年が  
突如現れ

内乱を沈静化  
させてしまった  
と？

はい

本来なら

その内乱に乗じて  
国益を見出す  
ことこそが

あなたに必要と  
されたことでは  
ないのですか？

自分の  
本来の任務は

女王に  
密書を届け

脱出させる  
ことでした

いち軍人として

それ以上の  
独断は憚はばかられます



これまで各地で  
独断専行を  
していてよく  
仰おこしやいますね？

あれは  
なりゆきです

では――

大艦隊を率ひきいて

突如  
シンシャルに  
攻撃を仕掛け

拳あげく句

大敗北を  
喫きつしたのも

やはり  
なりゆきだと？





艦隊？

シンシヤールを  
攻めた…？

負けたって…  
グレイ少佐が！



そんなことは  
していません

ですが

バルアラの人々は  
口々に言っている  
そうですよ？

「あれは確かに  
グレイの艦隊  
だった」

「俺たち  
シンシヤール  
は——」

あの  
軍神グレイに  
アルビオンに  
勝ったんだ  
——と



これが国辱こくじよくでなくて  
なんでしよう！

いや少佐が  
負けるはず  
は……

でも  
本当なら  
国辱だ！

グレイ少佐が  
まさか……

議員

自分からも  
ひとつ質問しても  
いいですか？









では  
やはり  
シンシヤールを  
自分が攻めたと  
言うのはあくまで  
噂にすぎず

証拠も  
何もない

そういうこと  
ですね？

よしッ



では逆に  
お尋ねします

——ならば  
貴方は


このとき  
何を  
していた  
のです？



貴方はシンシヤールに  
おける我が国の権益を  
維持するために  
派遣された

——にも  
かわらず!!





グレイ少佐を名乗る  
艦隊が攻めてきた  
ときも!!

それがラーフの化身に  
壊滅させられた  
ときも!!



何もしていない

それは完全な  
職務怠慢であり

国家と人民に  
対する  
背信行為  
です!!!



答えてください

——なぜあなたは  
何もしなかったのです!?

まったく以て<sup>もっ</sup>

我々の知る  
軍神グレイ  
らしくもなく!!

議長!!

いまのは根拠の  
ない決めつけです  
撤回を要求します!!

却下します

続けてください  
議員

私も  
理由が知りたい

私がお教え  
いたしますわ

議長閣下





それは  
彼が――

グレイ・エンフィールドでは  
ない……偽者だからです!!



議長閣下

我々はある  
証言を入手  
しました

証言者は

アダール戦線に  
従軍した  
元レムリアン・  
カンパニーの兵士

彼によれば

本物のグレイ少佐と  
今ここにいる男は

まず背格好から  
して違う

と!!

偽者って...

そんな  
馬鹿な

しかし  
もし本当なら...

苦し紛れに  
何を言い出すやら

少佐が偽者の  
わけないだろうが!!





背格好など  
簡単に見誤る  
ものです

証拠には  
なりえません

そうね…



ですので  
議長

我々は  
グレイ少佐に  
その仮面を  
外すよう要求  
いたします

その上で

証人による確認を  
おこなわせて下さい



彼が本当の  
グレイ少佐か否か<sup>いな</sup>!!

異議あり!!

議会には外すよう  
指示する権限は  
ありません!!







もし少佐が  
同意したとしても

親しくもなかった  
一兵卒の方の  
証言では  
信憑性しんぴやうが疑われます

確認は  
無意味です!!

では…

信憑性のある  
証人ならば

仮面を外して  
確認しても  
かまわない  
そういうこと  
ですね!?

!!

それは  
…っ

議長

当査問会に  
新たな証人を  
召喚することを  
お許しください

…少佐の  
本人確認が  
確実にできる方  
なのですか?





間違いありません



——ご紹介させて  
いただきます



グレイ・エンフィールド  
少佐の唯一の  
肉親である

彼の祖母——



エンフィールド元伯爵夫人を!!!





# 第78話／新たな証人

エンフィールド  
元伯爵夫人……!?

グレイさんの祖母  
…本物の彼を  
確実に知っている人だ!!









肉親に会った  
だけだと  
いうのに



すう――

そうか

ふう……

……ついに全てが  
終わる時が  
来たんだな



だつたら――

スッ

ご無沙汰して  
おります

お祖母<sup>ばあ</sup>さま

最後の  
最後まで

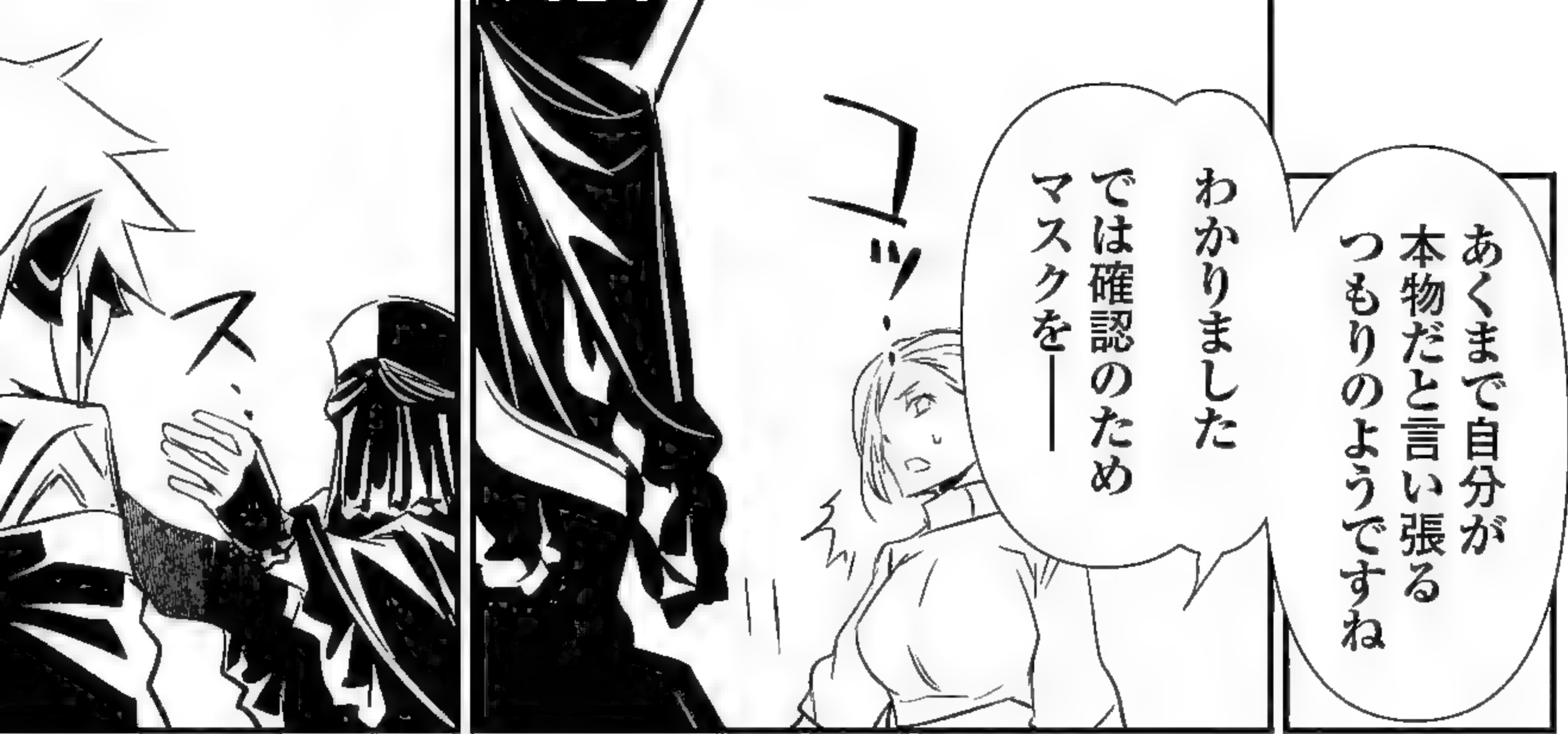
グレイとして  
振る舞いきって  
みせる!!!

このような  
無<sup>ぶ</sup>粋<sup>すい</sup>な場で  
恐<sup>おそ</sup>縮<sup>ずく</sup>ですが…

久しぶりに  
お目にかかれた  
こと  
嬉<sup>うれ</sup>しく思います

……!?









…久しぶりですね

グレイ

……はい

お祖母さま……

お前も  
元気そうで  
なによりです

いまの声……!!

なっ……!!





いったい

これはなんの  
茶番なのですか？

スチャ

ここにいるのは――

まぎれもなく  
私の孫

グレイ・  
エンフィールドです!!

馬鹿な!!

そんな筈は  
ないっ!!

おや...

私の言葉を  
疑うというの  
ですか？

この――

スチャ













しかし私はこの女を知っています!!

リュカ殿下のメイドです!!

これは殿下の

私を陥れようとする  
策略なのです!!



下女の分際で  
伯爵夫人を騙る  
なんて…

でも残念だった  
わね!!

私は一度会った  
人間の顔は  
忘れないのよ!!!



逮捕して!!

身分詐称と  
議会への  
侮辱罪よ!!





議長!!

ご命令を!!

ドリス議員:

実は私も

人の顔を  
覚えるのは  
得意でしてなあ

は?

それが?

貴女は偽者  
だそうですよ

困った  
言いがかり  
ですなあ  
マナーラさま

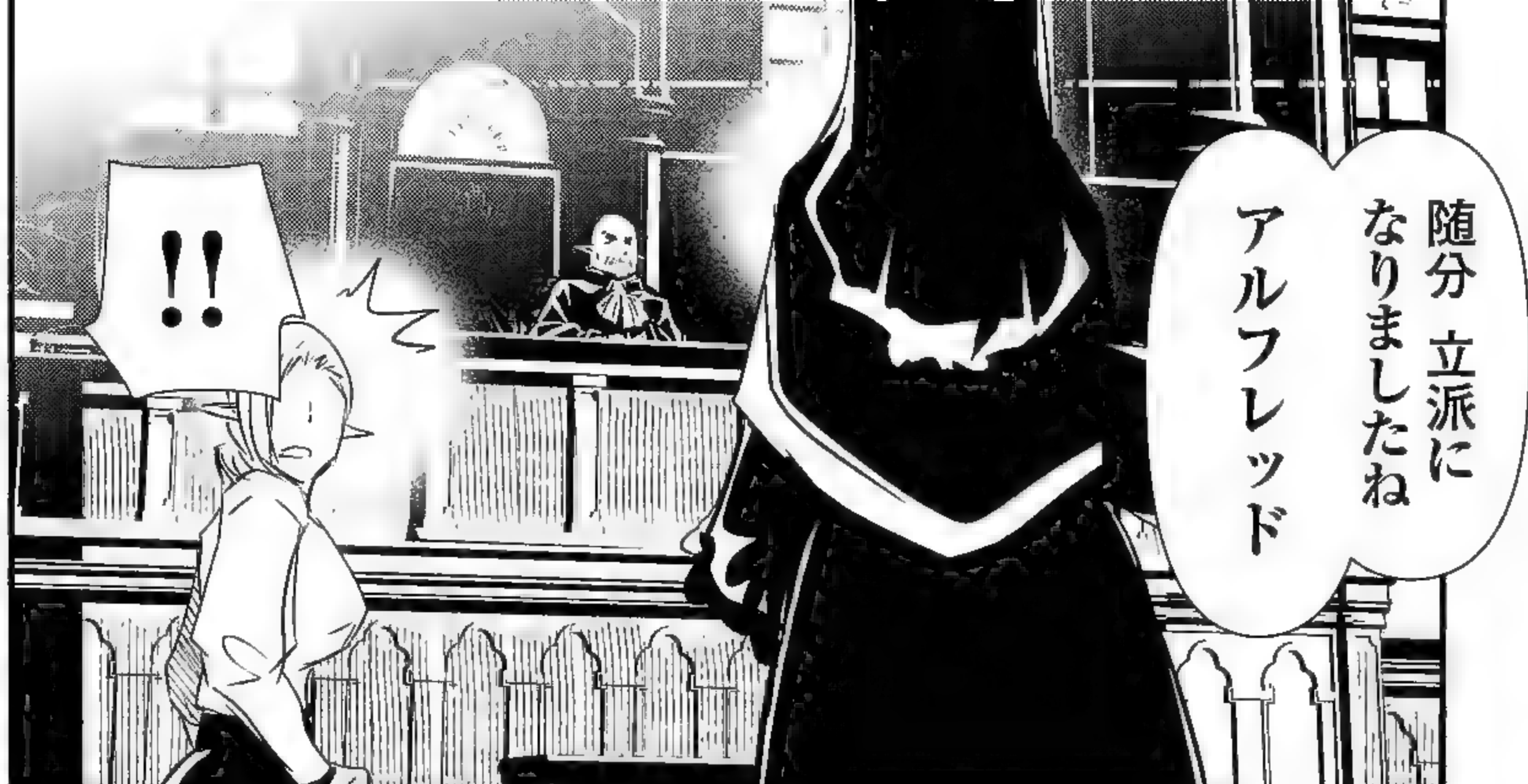
お久しぶりです

相変わらず  
美しい

ふふ...

あのやんちゃな  
坊やが—





随分立派に  
なりましたね  
アルフレッド



かつて  
憧れの人として  
見つめ続けた  
私が保証しよう

この方は間違いなく  
エンフィールド  
元伯爵夫人だよ

そん……な……



少佐  
つまらない疑いをかけ  
申し訳なかった

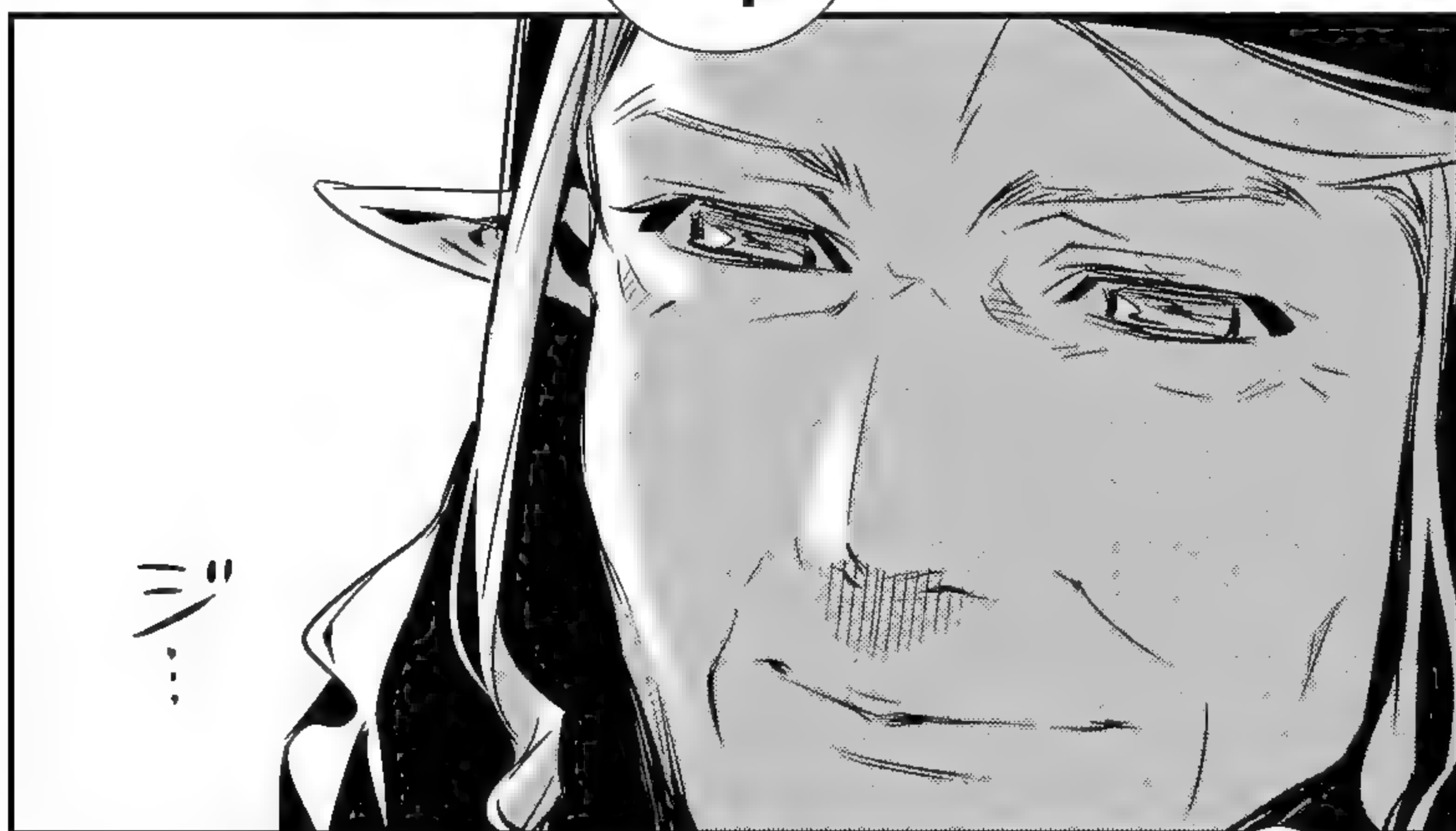
マナーラさまが  
認めた以上

あなた  
貴方は  
間違いなく

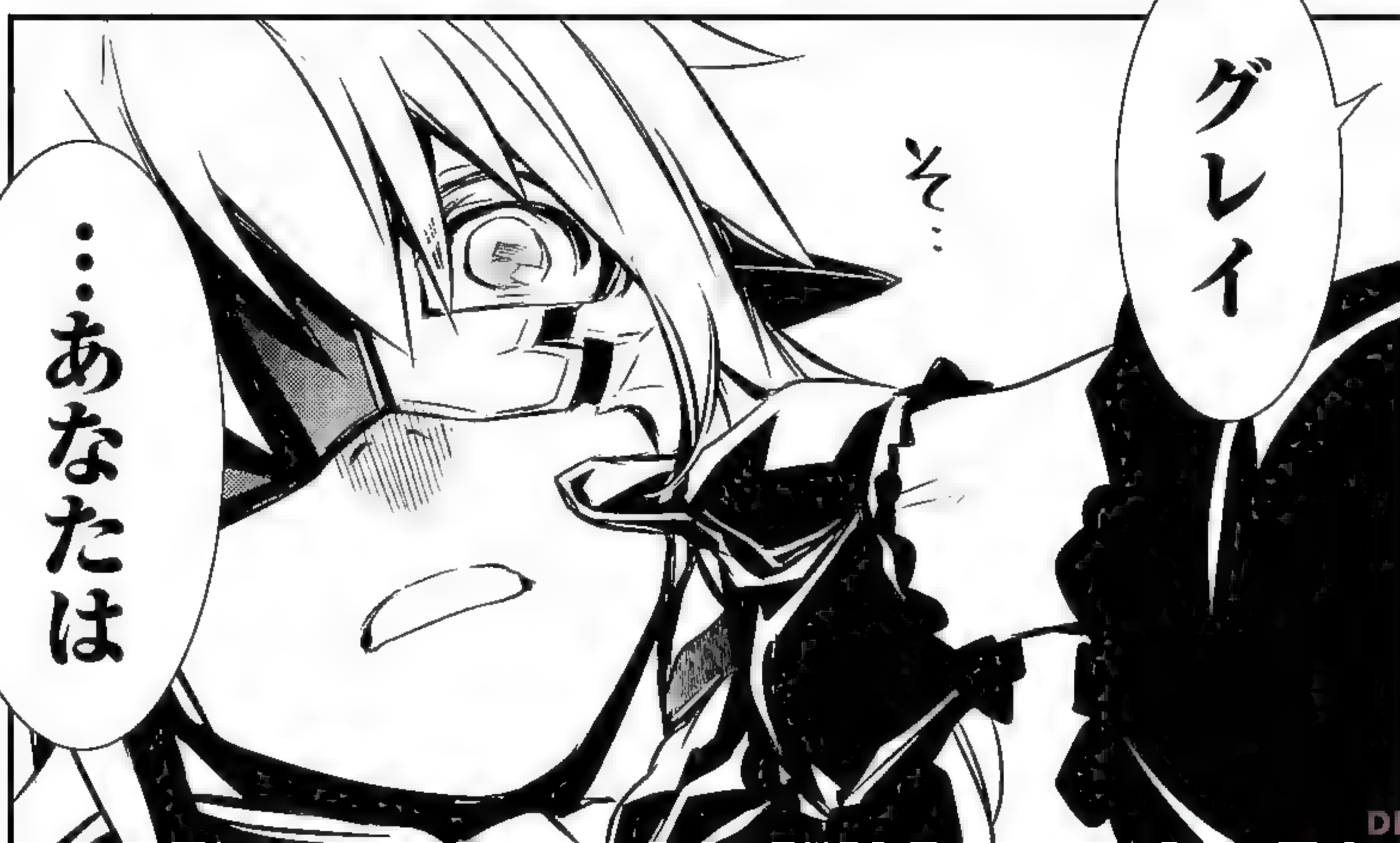




グレイ・エンフィールド  
その人だ



ジ…



グレイ

…あなたは

そ…





とても沢山の

あなたを愛し  
力を尽くしてくれる  
人々に囲まれて  
いるようですね





私も

あなたが私の孫……  
グレイ・エンフィールドで  
あることを

とても嬉しく  
思いますよ









フリでは  
ありませんよ

私は もともと  
侍女<sup>じじょ</sup>出身  
ですからね



——そして

リユカ殿下の  
メイド頭<sup>かしら</sup>として

貴女に伺いたい  
ことがあるのですよ

ドリス議員



私がお世話させて  
いただいている  
ドルネア嬢が…

貴女の屋敷に  
向かったあと

戻らなかったの  
ですが？



なんのことでしょう？

マナー…  
お祖母さま

帰らなかった  
って…？

聞いての  
通りですよ

——本当に  
ご存じないと？

いまごろ あの娘の  
死体は溶けて  
しまっている筈…

証拠は何も  
残っていない

ええ  
存じあげません

では——

ドルネア嬢を  
辱めようと  
オークを  
けしかけたり

あるいは多くの  
獣人や多種族の  
娘たちを奴隷商から  
購入し

亜人たちに虐待  
させたりして  
いない……と？





いったい……  
なんの根拠が  
あってそんな  
中傷を!!!

ここは神聖な  
議場です

口を慎みなさい  
このメイドあがり  
が!!!



根拠なら  
もちろん  
あります



ご覧なさい

フッ





!!!

……なぜ……

グレイに仕える  
密偵が  
ドルネア嬢を  
追跡し――

トキ

トキ



貴女の屋敷で  
スライムに  
取り込まれていた  
彼女たちを

ひそかに救出  
したのです

地下には

オークを  
はじめ

ゴブリン等<sup>など</sup>の  
亜人種が多く  
飼われていた  
ことも確認して  
います

スライム…!!

屋敷の地下に  
ゴブリンって…  
なんでそんな…



お お  
おい…

これは  
どういうこと  
なのだ

ドリス…っ!!

皆さま

議長閣下<sup>かっか</sup>

はじめまして

わたしは  
ドルネア・フィリア・  
ゴラ・ガランドア

—現ガランドア王  
ハヴォルの妹です



わたしは  
救出されたあと

彼女がわたしに  
したこと

そのとき語った  
ことを詳細に

国民議会警護隊の  
皆さまにお話しいたし  
ました



そしてまた彼女  
：リーアさん<sup>おつや</sup>と  
仰るのですけど



彼女もまた

自分が受けた  
行為を語って  
くれました



人種を差別し

徒<sup>いたすら</sup>に命を  
もてあそ  
ぶ貴女を…

わたしは絶対に  
ゆるせません!!





みなさん!!

純血の白エルフの  
家系に生まれ

みなさん国民の  
代表として議員を  
務めてきた私と

こんな小娘の  
言い分

どちらを  
信じますか?

どうしたの!?

私は  
ドリス議員よ!!

みんなの希望の!!

これまでだって  
あんたたちを  
助けてやって——

議員

——諦めてください



そのリーアさんの  
証言で

あなたが  
奴隷と亜人の  
買い付けに  
使っていた  
奴隷商を

先ほど  
逮捕しました

全て白状  
しましたよ

あんた…!!

ひひとりで  
捕まるもんか…

あんたも  
道連れだよ!!

この人種差別の  
変態女めッ!!

国民議会の  
名において

人身売買

ならびに誘拐  
殺人の容疑で

貴女の身柄を  
拘束いたします!!



さわらないでっ!!

下等種の分際で!!

私は純血の  
白エルフなのよ!!

お前たち劣等種を  
導くのが私の使命  
なのよ!!

やめなさい!!

やめてーッ  
!!!

…大変なことが  
あったんだね



俺のために…

—無事で  
よかった

ありがとう  
ドルネア

その言葉だけで

わたしは充分  
しあわせです!!











アルビオン王国  
：リユカ殿下の  
お屋敷

——サクラ姫に



## 【マナーラ・エンフィールド元伯爵夫人】

地方の新興富裕層の四女として生まれたマナーラは、当時、花嫁修業の一つと見做されていた宮廷勤めの女官となるべく、十代半ばでアヴァロンに出仕し、そこで教育を受け当時のドレイク王の正妻、アリステラ王妃の侍女となった。

アリステラ王妃は絶世の美女と言われたが、気性が難しいことでも有名であり、特にドレイクが次々と愛人を増やして行ったため王妃の生活は荒れたが、そんな中で、マナーラだけは彼女から信頼を得て、諫言することも許されていたという。

そして、慰みに物語を好んだアリステラのために王立図書館に出入りするの  
も彼女の仕事となっており、その姿を見かけた当時の貴族院の学生たちは、図書館の聖女、と秘かに憧れるものも多かったと言う。

そんな彼女を、当時ドレイクの腹心として宮廷勤めしていたエンフィールド伯爵が本気で見初め、身分差などに起因する周囲の反対を押し切っての大恋愛の末に——といっても、一方的に伯爵がマナーラに惚れ抜いて追い回し、最後は彼女が観念して<sup>ほど</sup>絆された形ではあるが——マナーラはエンフィールド伯爵夫人となった。

そして一男(グレイの父)をもうけるが、エンフィールド伯爵は早逝し、寡婦となったマナーラはアルビオンの貴族社会から身を引き、その足跡は消える。

マナーラはその後、ドレイクに乞われる形で、身分を隠して彼の一番年若い愛妾の侍女となっており、のち、その愛妾の息子であるリュカ王子の屋敷でメイドをしていたことが判明するのは、彼女の孫、グレイが背任容疑で査問会議にかけられた際のことであった。



# 昔日

のねくたる

マナロー  
図書館の聖女様……

とても良い本  
でしたわ

いつも  
ありがとう  
アルフレッド

ボウのカーン  
お役に立てて  
光栄です!!

議長  
(青年時代)

なんて  
綺麗なんだ……







上級官吏試験に  
受かったら俺  
マナーラさんに  
告白するんだ...

ぽー...



そんな  
悠長なことを  
言ってる暇は  
ないんじゃないか...

俺だぞ!!



マナーラ嬢!!

ぜひ一度

御食事と!!

「マナーラが  
先約だぞ」

「いや  
ぜひ僕と!!」



当時

アルビオン中の

男性諸氏は

皆おのれに

夢中でしたよ

(議長談)

「マナーラさん  
じゃん!!」

「マナーラさん  
じゃん!!」

「アルビオン中  
大ボケだったよ」



前巻から数ヶ月のご無沙汰です。

『神呪のネクタール』第16巻、手にしていただき本当にありがとうございます！

× × ×

主人公がずっと捕まったままでほとんど何もしない、という前代未聞の巻となりましたが、久々に、ドルネアがこれでもかと活躍してくれて、書いてる方としてはけっこう楽しかったです。

ドリスも、かなり悪役らしい悪役として……いえ、本当はもうちょっと長引いて、今後もカイたちを陥れる予定だったのですが、サイテーな感じの性癖を露わにした瞬間(当初はここまでとは思って無かったです。いやマジで)、このエピソードのみで片付けられる運命が決まってしまったのでした。ただその分、かなりらしい悪役になってくれたので、それはそれでアリだったかな、と。

相変わらず、物語は書き手の思う通りにはなかなか進んでくれません。いや、それが楽しいんですけどね。

× × ×

そして次巻も、またキャラが勝手に動き出し、前巻で予告したほどは活躍しなかった(汗)サクラが、今度こそ、ド真ん中でメインを張って物語を動かすことになりそうです。

ついに、1巻で振られたきりのお姉さんの話や、シャクンディーラの謎も語られることになるのやも……？

ということで、次巻も何卒応援のほど、よろしくお願いいたします！

神無月某日 吉野弘幸



何者にも屈しない姫騎士を墮落させろ!!

転移者ミキヒコに想いを寄せる姫騎士エレオーラと

ナオトは淫靡な関係を深めていく!

だが想像を絶する恐るべき敵が

バルファレオ王国に襲いかかる!!

# 異世界NTR

親友のオンナを最強スキルで墮とす方法?

ネットラレ

巻末に  
五里先生の  
新作書き下ろし  
小説も収録!

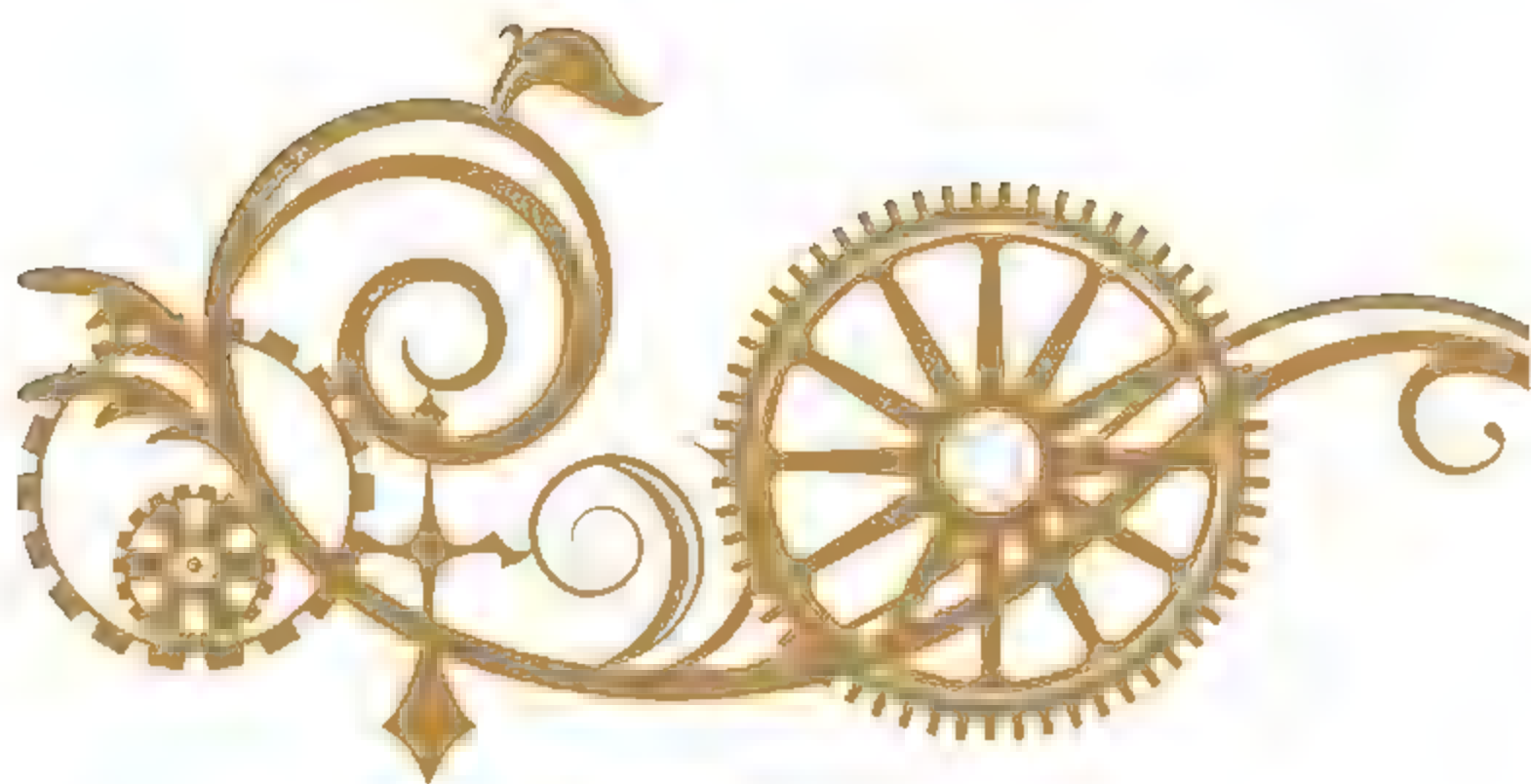
原作★五里蘭堂 漫画★佐藤健悦

1~5巻 大好評発売中!!

(以下続刊)

ヤングチャンピオンコミックス B6判 発行/秋田書店 ※2023年11月現在







# グレイの仮面の 正体が白日の下に 晒される!?

アルピオンに帰還したカイは、  
シンシャールでの責任を問われ、拘束されてしまう。  
その背後には、リュカの政敵カツ・バローラの義娘、  
ドリス・バローラの影があり、カイを追いつめてゆく——!?





16

# 神呪のエクスタール

原作

吉野弘幸

漫画

佐藤健悦



秋田書店

秋田書店





チャンピオンRED  
コミックス

しんじゅ  
**神呪のネクター** 16

2023年12月 1 日 初版発行

著 者

よし の ひろ ゆき  
吉 野 弘 幸・作

©HIROYUKI YOSHINO 2023

さ と う けん えつ  
佐 藤 健 悦・画

©KENETSU SATO 2023

発 行 者

牧 内 真 一 郎

発 行 所

株式会社 秋田書店

〒102-8101 東京都千代田区飯田橋2-10-8

☎編集(03) 3265-1326 販売(03) 3264-7248

製作(03) 3265-7373

印 刷 所

大日本印刷株式会社

Printed in Japan

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内の利用でも著作権法違反です。

(禁/無断転載・放送・上映・上演・複写・公衆送信・Web上での画像掲載)

**ISBN978-4-253-32006-1**

デジタル版 2023年発行

製作所 デジタルカタパルト株式会社

<https://www.digital-catapult.com>